

# 第36回 医学情報サービス研究大会 抄録集



令和元年 8 月 11 日 (日・祝)  
～ 8 月 12 日 (月・振替休日)

九州大学医学部 百年講堂

### 【Wi-Fi 環境について】

本大会の会場では、eduroam ならびに九州大学無線 LAN アクセスサービス (kitenet) がご利用いただけます。

kitenet 用の ID/PW は、以下のとおりです。

ID : mis36 / PW : Fukuoka2019

### 【SNS 用のハッシュタグについて】

本大会の SNS 用ハッシュタグは、#MIS36 です。

MIS36 の熱気を、大いに発信しましょう！

# MIS36 ようこそ！

第36回医学情報サービス研究大会（MIS36）に全国各地から御参加いただき、誠にありがとうございます。

令和元（2019）年8月11日（日・祝）～12日（月・振休）の2日間にわたり九州大学発祥の地である馬出<sup>まいだし</sup>キャンパスの医学部百年講堂を会場に開催される本大会は、改元後初めて且つ福岡で初めて開催される大会です。

MIS36では、第1回日本医療研究開発大賞（文部科学大臣賞）を受賞された石野良純九州大学教授による記念講演、口演12件・ポスター10件の研究発表、企業18社による展示・プロダクトレビュー、3つの参加者企画を御用意しているほか、大会の合間に参加者同士の交流や施設見学を落ち着いて行えるように、余裕を持ったプログラム構成としています。

本大会が、全員にとって実りある有意義な大会となることを願っています。

第36回医学情報サービス研究大会実行委員会  
実行委員長 首東 誠



# 目次

実行委員長挨拶	1
会期中のお願い	3
会場へのアクセス	4
会場配置図	5
プログラム	6
タイムテーブル	11
懇親会のご案内	12
実行委員会企画：記念講演	
クリスパーとゲノム編集－遺伝子工学技術の30年史－	13
口頭発表	
A	15
B	21
C	27
ポスターセッション	33
参加者企画	45
プロダクトエキシビジョン，企業展示	49
参加企業連絡先	68
Learning from each other! 医学情報サービス研究大会をより充実させるために	70
実行委員紹介	75
ロゴマークについて	77
大会グッズのご紹介	78
大会関連データ	
医学情報サービス研究大会の組織と運営	80
医学情報サービス研究会会則	81
医学情報サービス研究大会の足跡	82
第37回医学情報サービス研究大会開催のお知らせ	84
大会主催のお願い	85

# 会期中のお願い

## ■基本情報

### 1. 名札

大会参加期間中（懇親会を含む）は、必ず名札をご着用ください。使用後の名札は記念にお持ち帰りください。

なお、一般参加者はピンク、企業関係者は緑の名札を着用いただいています。口演・ポスター発表者、参加者企画提案者は名札の枠内にプログラム番号を記載しています。

### 2. 実行委員

実行委員は白、協力委員は青のベースボールユニフォームを着用しています。

### 3. 飲食

館内での飲食は原則禁止です。第2日目に会議室1～3で行う参加者企画(ランチョンセミナー)のみ可能です。飲食によるゴミは、実行委員が用意したゴミ箱に入れてください。施設内のゴミ箱には入れないようにしてください。

### 4. 会場の美化, ゴミの処理

会場の美化にご協力をお願いいたします。ゴミは会場内設置ゴミ箱に廃棄するようお願いいたします。

### 5. 参加証明書

受付にご用意しています。必要な方は一人1枚ずつお受取りください。

### 6. アンケート

次大会の参考といたしますので、ぜひご協力ください。回収箱は受付にあります。

大会終了後、公式サイトから回答いただくことも可能です。

## ■禁止・制限事項

### 1. 会場および敷地内での喫煙

### 2. 会場内での携帯電話での通話をご遠慮ください。

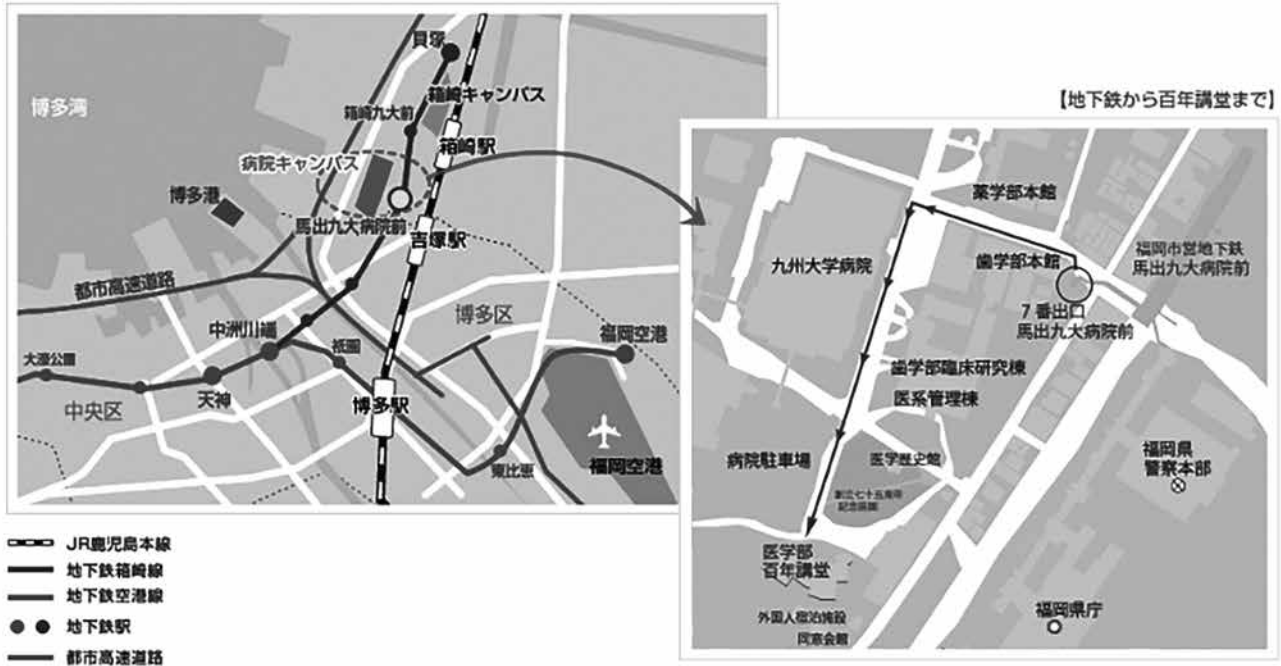
## ■必ずご確認ください。

### 1. 貴重品は各自で管理してください。実行委員会では責任を負いかねます。大きな荷物はクロークにお預けください。

### 2. 非常口ならびに避難経路はご自身の目でお確かめください。

# 会場へのアクセス

## アクセスマップ



## 交通アクセス

### 【福岡空港からお越しの場合】

- 地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩8分



### 【天神からお越しの場合】

- 地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩8分



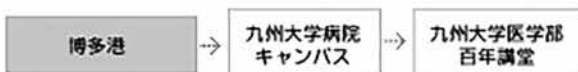
### 【JR博多からお越しの場合】

- 地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩8分



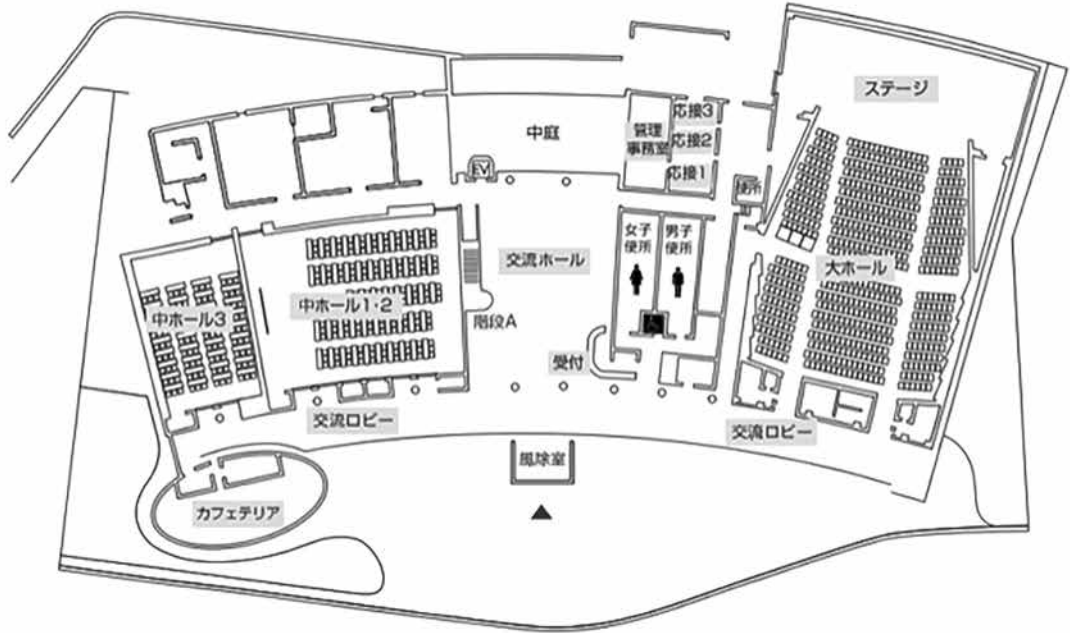
### 【博多港からお越しの場合】

- タクシーにて20分

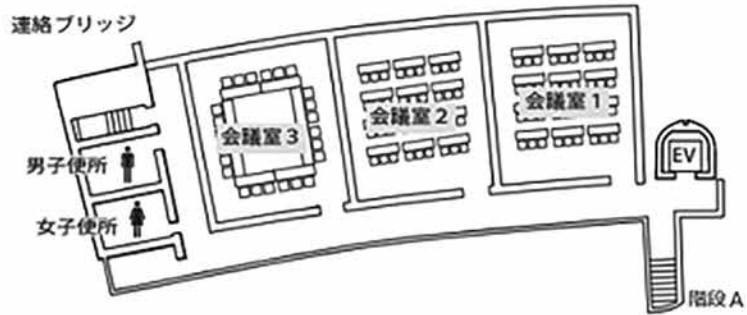


# 会場配置図

1階  
平面図



2階  
平面図



# プログラム

## 【第1日目】2019年8月11日（日・祝）

11:00～12:00 受付

12:00～12:20 開会式，幹事会挨拶，事務連絡

12:30～13:30 記念講演

クリスパーとゲノム編集－遺伝子工学技術の30年史－

石野 良純 教授（九州大学 農学研究院）

14:00～15:30 口頭発表A（O-01～04）

**O-01** オープンアクセスには地域格差があるか？

－文献数とオープンアクセス文献数の，国・地域による変遷－

城山 泰彦（順天堂大学学術メディアセンター）

**O-02** 医学電子書籍の配信コンテンツの実態について

－個人向け・機関向けサービスの比較を通して－

伊藤 民雄（実践女子大学図書館）

**O-03** クリニカル・クエスチョンを用いた臨床支援ツールの比較

－6年前と現在－

大瀬戸 貴己（奈良県立医科大学附属図書館）

**O-04** 20世紀前半の医学研究者の業績発表と，抄録・索引誌でのその収録状況

－ある臨床医学者の事例－

小野寺 夏生（文部科学省科学技術・学術政策研究所），

児玉 潤（東邦大学医学メディアセンター）

16:00～17:00 プロダクトレビューA [E-01～08]

17:00～17:30 事務連絡，写真撮影

17:30～18:00 ポスターセッション待機時間

18:30～20:30 懇親会（九州大学生協）



**【第2日目】2019年8月12日（月・振替休日）**

9:00～9:30 受付（2日目からの参加者のみ）

9:30～11:00 口頭発表B（O-05～08）

- O-05 研究データ管理支援人材に求められる標準スキルの策定とその活用**  
尾城 孝一，古川 雅子，常川 真央（国立情報学研究所）
- O-06 更なる“図書館員力”アップのすすめ：IAAL認定試験の軌跡から**  
岡田 智佳子（NPO大学図書館支援機構）
- O-07 The International Federation of Library Associations and Institutions（IFLA:国際図書館連盟）；Health and Biosciences Libraries Section（HBS）活動紹介**  
佐藤 正恵（IFLA HBS；Corresponding Member）
- O-08 気が付けば，非正規雇用で15年  
不安を愉快に変える処方箋は，いかがですか？**  
北川 妥穂（国立精神・神経医療研究センター図書館）

11:00～11:30 ポスターセッション待機時間

11:30～12:30 プロダクトレビュー [E-09～15]

12:40～13:40 参加者企画（ランチョンセミナー）

- F-01 看護図書館員のとまどい**  
～悩みや課題を共有し，仲間との協働を模索しよう～  
企画提案者：日本看護図書館協会 30周年記念事業実行委員会  
釜堀 千恵（鹿児島純心女子大学附属図書館）
- F-02 メディアドクター@福岡：医療・健康ニュースを吟味しよう！**  
企画提案者：メディアドクター研究会  
佐藤 正恵（メディアドクター研究会）
- F-03 絵本セラピー体験講座**  
～大人のための絵本セラピーを体験してみませんか～  
企画提案者：平山 紀子（久留米大学医学図書館）  
講師：榊田 純氏

13:50～15:20 口頭発表C（O-09～12）

- O-09 国立大学病院における「患者図書室」の現状と課題**  
折井 匡（信州大学医学部図書館）

- O-10 高齢者のヘルスリテラシー向上のための教材開発と教育方法の提案**  
三輪 眞木子（放送大学）、佐藤 正恵（千葉県済生会習志野病院図書室）、  
山下 ユミ（京都府立図書館）、磯部 ゆき江（日本図書館協会）、  
阿部 由美子（放送大学）
- O-11 公共図書館における医学書の蔵書構成分析**  
児玉 闕（東邦大学医学メディアセンター）
- O-12 都道府県立図書館での医中誌Webの提供について**  
山下 ユミ（京都府立図書館）

15:20 ～ 15:40 事務連絡, 閉会式

施設見学（希望者のみ）

**【第1日目】** 2019年8月11日（日・祝）

10:00 ～ 16:00 医学歴史館（時間内常時見学可）

13:30 ～ 14:00 久保記念館

15:30 ～ 16:00 久保記念館

**【第2日目】** 2019年8月12日（月・振替休日）

15:50 ～ 16:20 医学図書館

## 【両日共通】

### ポスターセッション

- P-01**    **メディアドクター指標を活用したワークショップにおけるヘルスリテラシー向上の取り組み**  
佐藤 正恵（メディアドクター研究会）、  
北澤 京子（メディアドクター研究会、京都薬科大学）、  
渡邊 清高（メディアドクター研究会、帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科）
- P-02**    **医療系図書館員の課題解決に向けた地域発勉強会の成果と課題**  
ー千葉県EBM勉強会の進化と広がりー  
村上 早苗（千葉県EBM勉強会、日本医学図書館協会（JMLA）正会員個人）、  
小田 伊佐子（千葉県EBM勉強会、東葛病院図書室）、  
佐藤 正恵（千葉県EBM勉強会、日本医学図書館協会（JMLA）正会員個人、千葉県済生会習志野病院図書室）、  
山口 直比古（千葉県EBM勉強会、日本医学図書館協会（JMLA）正会員個人、聖隷佐倉市民病院図書室）
- P-03**    **ゲーム性を取り入れた「図書館演習」の効果と今後の課題**  
古谷野 ありさ、佐藤 菊代、川崎 かおる（岩手医科大学附属図書館）
- P-04**    **東邦大学医学メディアセンター本館における改修前後の入館者の分析**  
村上 千晶（東邦大学医学メディアセンター）
- P-05**    **基礎医学科目の教科書・参考書調査の報告**  
亀井 雄大、橋本 郷史、児玉 闊（東邦大学医学メディアセンター）
- P-06**    **PubMedの変更と検索行動への影響**  
阿部 信一（東京慈恵会医科大学学術情報センター）
- P-07**    **日本赤十字九州国際看護大学図書館における1年生対象 情報検索ガイダンスの課題**  
ー受講者アンケートによる分析ー  
多川 綾子、白倉 理絵、松本 英里、伊東 泰子（日本赤十字九州国際看護大学図書館）
- P-08**    **リポジトリの過去・現在・未来**  
浦上 みつ子（順天堂大学学術メディアセンター）
- P-09**    **リハビリテーションに関する国内研究者の広がりについて**  
石立 裕子（帝京平成大学中野キャンパスメディアライブラリーセンター）
- P-10**    **歴代HPからみる利用者サービスの変遷：  
東邦大学医学メディアセンターの事例**  
大谷 裕、黛 崇仁（東邦大学医学メディアセンター）

## プロダクトエキシビジョン

展示+プロダクトレビュー（発表順）

- E-01 株式会社医学書院
- E-02 株式会社メテオ
- E-03 シュプリンガー・ネイチャー
- E-04 NPO医学中央雑誌刊行会
- E-05 株式会社サンメディア
- E-06 エルゼビア・ジャパン株式会社
- E-07 iJapan株式会社/iGroup Japan
- E-08 株式会社紀伊國屋書店
- E-09 株式会社カーリル
- E-10 丸善雄松堂株式会社
- E-11 株式会社ブレインテック
- E-12 ユサコ株式会社
- E-13 株式会社南江堂
- E-14 EBSCO Information Services Japan 株式会社
- E-15 ワイリー・ジャパン株式会社

展示のみ

- E-16 株式会社ウォルターズ・クルワー・ヘルス・ジャパン
- E-17 株式会社NTTデータ九州
- E-18 金剛株式会社

# タイムテーブル

## 第1日目 2019年8月11日(日・祝)

	メイン会場 (中ホール1・2)	ポスターセッション (交流ロビー)	企業展示 (中ホール3)	参加者企画 (会議室1~3)	施設見学/懇親会	クローク/大会事務局 (応接室)
10:00						
11:00	11:00-12:00 (受付)					
12:00	12:00 開会式等	ポスターセッション	企業展示		10:00-16:00 医学歴史館 見学 ※時間内常時見学可	クローク 大会事務局
13:00	12:30-13:30 記念講演					
14:00	14:00-15:30 口頭発表A					
15:00						
16:00	16:00-17:00 プロダクトレビューA					
17:00	17:00-17:30 事務連絡, 写真撮影					
18:00	18:10-18:20 懇親会場移動					
		17:30-18:00 待機時間				
19:00					13:30-14:00 久保記念館 見学	
20:00					15:30-16:00 久保記念館 見学	
					18:30-20:30 懇親会 (九州大学生協)	

## 第2日目 2019年8月12日(月・振替休日)

	メイン会場 (中ホール1・2)	ポスターセッション (交流ロビー)	企業展示 (中ホール3)	参加者企画 (会議室1~3)	施設見学/懇親会	クローク/大会事務局 (応接室)
9:00	9:00-9:30(受付)	ポスターセッション	企業展示			クローク 大会事務局
10:00	9:30-11:00 口頭発表B					
11:00		11:00-11:30 待機時間				
12:00	11:30-12:30 プロダクトレビューB					
13:00		ポスターセッション	企業展示	12:40-13:40 参加者企画 ※ランチョンセミナー		
14:00	13:50-15:20 口頭発表C					
15:00	閉会式					
16:00					15:50-16:20 医学図書館見学 ※図書館休館日	

## 懇親会のご案内

MIS36 福岡大会では、大会1日目（8月11日）のプログラム終了後、18：30より懇親会を開催いたします。会場は、九州大学馬出キャンパス内の九州大学生協 医系食堂です。

九州の美味しい料理や飲み物を囲んで、情報交換など楽しいひとときを過ごしていただける場になればと考えております。皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。

### 記

開催日時：8月11日（日） 18：30～20：30

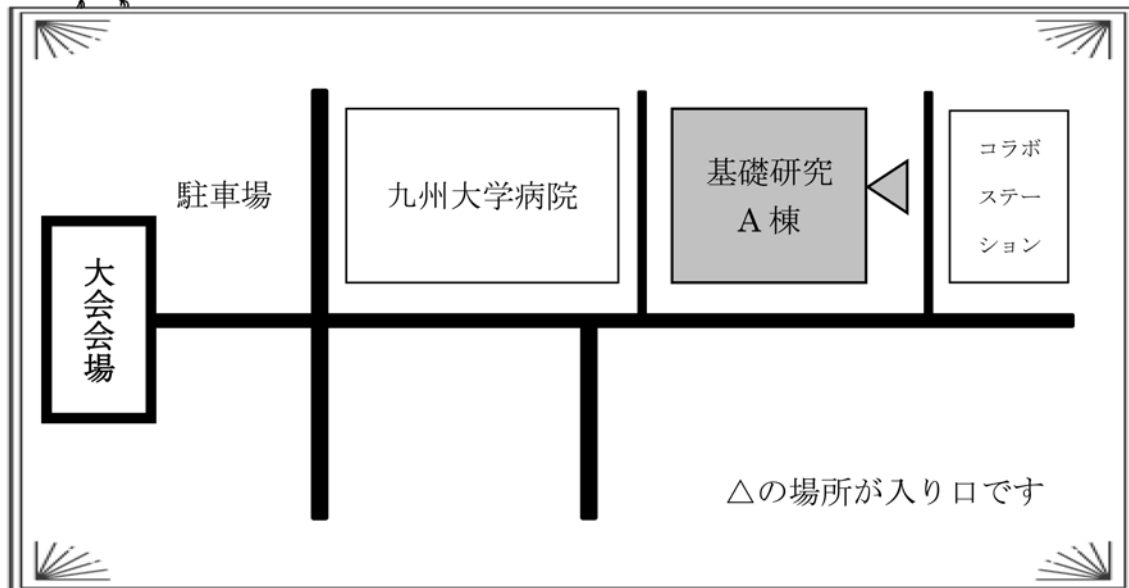
懇親会会場：九州大学生協 医系食堂

（九州大学馬出キャンパス 基礎研究A棟1階）

会 費：4,000 円



### 会場のご案内



九州大学のオリジナル芋焼酎「いも九」もご用意しております。甘くフルーティな香りと1本芯の通ったドッシリとした味わいです。



**実行委員会企画  
記念講演**

# クリスパーとゲノム編集

## －遺伝子工学技術の30年史－

石野 良純

九州大学 農学研究院 教授

私は1980年代に、当時実用化されて間もない遺伝子操作技術を用いて、大腸のリン酸代謝酵素の研究を行っていた。その過程で発見した奇妙なDNA塩基配列は、29塩基を一単位とする保存された配列が等間隔をおいて何度も繰り返すものであった。繰り返し単位の中には当時のDNA配列解析技術では正確に解読するのが困難なパ lindローム構造を取りうる二回対象配列が含まれるのも特徴的であった。このような繰り返し配列は前例が無く、この配列の持つ生物学的意味がまったく予想できなかった。

塩基配列解読技術の発展によって、1990年代半ばから一種の生物が有するDNAの塩基配列を全部解読する、所謂ゲノム解析時代が始まった。同じような特徴を持つ繰り返し配列が他のバクテリア（細菌）やアーキア（古細菌）からも次々に見つかり始めた。この配列をクリスパー（CRISPR；Clustered Regularly Interspaced Short Palindromic Repeat）と呼ぶことが2002年に提唱され、それが受け入れられて広がった。しかし、クリスパーの持つ生物学的意味は依然として不明であった。さらに多種生物のDNA配列の解読によりデータベースが大きくなると、クリスパーの繰り返し単位の中に存在するスペーサーの中に、ウイルス（ファージ）やプラスミドなどの外来性の遺伝子配列が含まれるものが発見された。この2005年の報告は、そのようなクリスパーを有する生物が、外来遺伝子を捉えてゲノム中に入れ込むことによって、次回からの感染を防御する免疫機能に関わるという予想に繋がった。それが実験によって証明され、2007、2008年に相次いでに報告された。

クリスパーによる獲得免疫の原理は、生きた細胞中のどんな遺伝子でも狙ったところを人工的に切断する技術開発に繋がり、実用的なゲノム編集技術が誕生した。本講演では、発見から30年の時を超えて一躍有名になったクリスパーの歴史を辿り、実用化されたゲノム編集技術を概説するとともに、今後の生命科学の発展を展望する。

### 講演者プロフィール

九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門教授。薬学博士。

1983年大阪大学大学院薬学研究科博士前期課程修了、1986年薬学博士、1987年Yale University Postdoctoral Fellow、1993年宝酒造バイオ研究所主任研究員、1996年生物分子工学研究所主任研究員、2000年同研究所主席研究員を経て2002年より現職。

CRISPR（クリスパー）の配列発見により2017年第1回日本医療研究大賞 文部科学大臣賞受賞。

趣味は、ヤフオクドーム観戦、サッカー、野球、市民マラソン。

九州大学 生物化学（石野）研究室

<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/seibutsukagaku/index.html>



## 口頭発表A

# オープンアクセスには地域格差があるか？

－文献数とオープンアクセス文献数の、国・地域による変遷－

城山 泰彦 (KIYAMA Yasuhiko)

順天堂大学学術メディアセンター

## I. 背景と目的

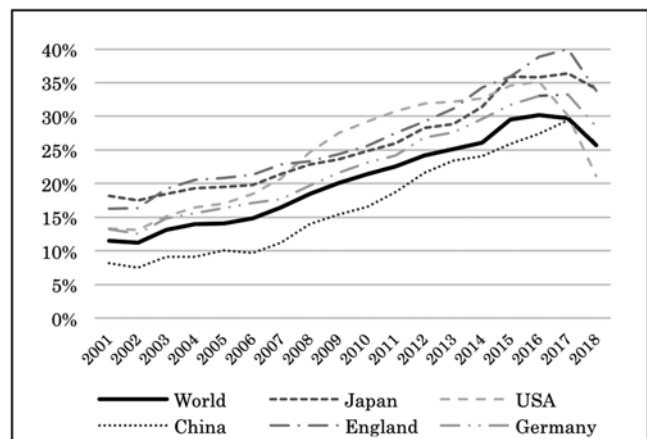
“オープンアクセス”は、誰もが無料でアクセスできる学術情報であるため、学術情報の入手機会において、情報格差をなくすための有用な手段となっている。一方で、投稿に際して投稿料金を必要とするビジネスモデルであることから、オープンアクセスによる学術情報の発信には、経済格差といった障壁があり、そして国などによる政策の違いが影響していると感じていた。本調査では、オープンアクセス文献数の推移を計量的に分析して、学術情報発信にあたっての、国や地域による経時的な傾向を確認することを目的とした。

## II. 調査方法と調査項目

調査対象データは、引用索引データベース Web of Science から得た。ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブが2002年に公開されたことを考慮して、2001年から2018年までの18年間の調査対象とした。調査日は2019年3月5日である。出版年ごとに「文献数」を検索して、検索結果の絞り込みにより「オープンアクセス」の文献を得た。「すべてのオープンアクセス」文献数とともに、オープンアクセスのタイプ別に「DOAJゴールド」、「その他のゴールド」、「ブロンズ」、「グリーン（掲載済）」、「グリーン（査読済）」それぞれの文献数を得た。それらの結果を、さらに国／地域で絞り込んで得た文献数の分析を進めた。なお国際共著文献は、著者所属機関のすべての国に計数されている。

## III. 結果と考察

下の図は、世界平均と2018年の文献数上位5か国の、オープンアクセス文献の割合を示したものである。Chinaを除く4か国（Japan, USA, England, Germany）は、ほぼ一貫して世界平均を上回っており、経済力の高い国において、オープンアクセス文献の割合が高いという結果を得られた。ただし文献数の少ない国では、有意な結果を得られなかった。この結果から、オープンアクセスによる学術情報の発信は、地域格差が生じていることを確認した。また、開発途上国の研究者に投稿料金を助成する制度や、公的助成を受けた研究にオープンアクセス公表を義務づける政策といった、影響を与えていると思われるしくみの効果を検討する。



# 医学電子書籍の配信コンテンツの実態について

－ 個人向け・機関向けサービスの比較を通して －

伊藤 民雄

実践女子大学図書館

## I. 背景と目的

2016年の医療従事者の紙・電子書籍の利用についての調査において、状況に応じて、紙・電子書籍の使い分けが行われていることが報告された。医療従事者、医師、看護師、コ・メディカル、医学・薬学・看護学の学生等、にとっては、その使い分けが常識的なことであっても、非関係者にとってはその把握が難しい。そこで、本研究は、電子書籍のみに限定し、医療従事者を対象とする個人向け及び図書館向け医学電子書籍サービスで配信されるコンテンツの実態と特徴から、その使い分けに迫ることを目的に行った。

## II. 研究方法

個人向け1サービス（A）、個人・機関向け2サービス（B）、機関向けサービス（C）、の合計3サービスが配信する電子書籍コンテンツのリストを取得し、収録書籍底本の出版年、収録出版社、主題（日本十進分類法NDC、国立国会図書館件名NDLSH、医学書総目録分類JMPAC）から競合分析を行うと共に、3サービス間の重複具合の確認を行う。リストはサービス提供会社から2018年11月中に取得した。比較対照としてCの個人向けサービス（D）も適宜参照する。

## III. 結果と分析

2018年11月末段階で3社配信コンテンツの合計は7,736点である。電子版オンリーは12点で、残りは紙書籍の底本がある。①底本出版年：AとBの主力が2010年以降に対し、Cは2000年以降のコンテンツも収録されている。提供元は同じだが、C（機関）とD（個人）は配信コンテンツが同一ではない。②出版社：日本医書出版協会会員、看護書販売を考える会会員、それ以外で検討すると、収録出版社（調達先）に偏りが見られる。③主題：JMPACで検討すると臨床医学系書籍が収録の大多数を占めている。AとBは循環器内科の収録点数が多く、またAは救急医学も多い。Bは整形外科学、脳神経・神経内科学・消火器内科の点数が多い。NDCで顕著なのは、3サービスとも494.93（腎：腎炎、腎腫瘍、腎石症、ネフローゼ、人工腎）の点数が多く、特にCは120点以上収録している。NDLSHで顕著なのは、Cは看護学の収録点数が多く、Aは救急医療法、診断学、臨床医学等が多い。④重複具合：AとBの重複、AとCの重複はそれぞれ多いが、BとCの重複はそれほど多くない。三者重複コンテンツは7,736点中2点であった。

## IV. 結論

三者重複具合から電子書籍市場は競合ではなく共存しているように見える。各々のサービスは利用者属性を強く意識して配信され、利用者は業務内容、その時点での課題に応じて使い分けを行っていることが想像される。

# クリニカル・クエスチョンを用いた臨床支援ツールの比較

## － 6年前と現在－

大瀬戸 貴己

奈良県立医科大学附属図書館

### 1. はじめに

当館では臨床支援ツールについてこれまでにいくつかの視点から比較調査し、発表をしてきた。その中の一つで機関誌『医学図書館』に掲載された調査報告1)が今年ある論文に引用された。これをきっかけに、この報告についてももう一度現時点で見直してみて、6年前と現在でどのように変わっているのかを調査することにした。

### 2. 調査方法

2013年の調査報告1)で設定した3つのCQ（以下の表を参照）について再び臨床支援ツールで検索し、内容を比較する。調査対象とする臨床支援ツールは2013年の報告で調査し現在当館で利用できる3種、UpToDate, DynaMed Plus, 今日の臨床サポートとする。調査結果については、当日の発表で報告する。

No.	CQ	キーワード
1	ゲノタイプ1型C型肝炎治療において、テラプレビル、ペグインターフェロンおよびリバビリンの三剤併用療法施行時に貧血症状が出た場合、テラプレビルの用量を減らしてもよいか？	Telaprevir, Anemia
2	PSA 検診は前立腺がんによる死亡率を下げるか？	PSA, Screening, Mortality
3	2型糖尿病において肥満外科手術は有効な手段か？	Diabetes2, Surgery

### 参考文献

1) 鈴木孝明ほか. クリニカル・クエスチョンを用いた臨床支援ツールの比較. 医学図書館. 2013;60(4):459-467 (奈良県立医科大学機関リポジトリGINMUで公開)

## 20世紀前半の医学研究者の業績発表と、抄録・索引誌でのその収録状況—ある臨床医学者の事例—

小野寺 夏生<sup>1</sup>, 兎玉 闕<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 文部科学省科学技術・学術政策研究所, <sup>2</sup> 東邦大学医学メディアセンター

20世紀前半, すなわち明治末期から昭和10年代までの医学研究者の業績発表の実態, それらの業績の抄録・索引誌への収録状況を, 内科医小野寺直助を一事例として調査した。

小野寺は1904(明治37)年に九州大学医学部の前身である京都帝国大学福岡医科大学の第2回生として入学し1908(明治41)年に卒業, 第一内科教室に入局して1913~1916(大正2~5)年に独, 墺, 英に留学後, 33歳で第三内科教授となり, 1942(昭和17)年までその職にあった。この間の主要な業績として, アニオンの生理作用, 胃曲線診断法, 圧診法などがある。

九州大学(前身の京都帝国大学福岡医科大学を含む)在籍中に小野寺が著者として発表した論文(講義, 講演, 座談回答の記録もある)を, 2つの情報源<sup>1,2)</sup>を用いて調査した。以下では, 文献1)を「論文集」, 文献2)を「医中誌」と呼ぶ。

論文集には, この期間の73編の論文(全文)が収められており, そのうち11編は外国誌に発表されたものである。一方, 医中誌からはこの期間に92編が検索された。うち論文集に収められていないものが47編であったので, 両者を合わせた論文数は120編になる。

表1に, 120論文の発表年代別内訳を, 表2に国内論文のうち出典不明を除いた107編の発表資料内訳を示す。「福岡医科大学雑誌」, 「九州医学会雑誌」, 「九大医報」など九大や九州に関係のある雑誌への発表が多い(「実地医家と臨牀」の出版社も福岡市にある)。

医中誌に収録された92論文について単著と共著に分けたところ, 単著58編, 共著34編で共著率は37%であった(講義録, 講演, 座談会等を除くと単著44編, 共著20編で共著率31%)。現在に比べると共著の割合は少ない。

外国誌に発表された11論文中, 英国留学中の研究に関する2編(Biochemical Journalに発表)のみがPubMedとWeb of Scienceに収録されていた。

### 謝辞

医中誌の調査について協力をいただいた松田真美氏(医学中央雑誌刊行会)に感謝致します。

### 参考文献

- 九州帝国大学医学部第三内科学教室編纂. 小野寺教授論文集. 日本医書出版, 1944.
- 医学中央雑誌. 医学中央雑誌刊行会. vol.5(1907/1908)~vol.79(1942).

表1 論文の発表年代別内訳

年代	主な活動状況	国内誌	外国誌	計
1907-12	学生、副手、助手	6		6
1913-17	欧州留学		5	5
1918-22	教授就任、伝染病研究	19		19
1923-27	アニオン、アルカロイド研究	12		12
1928-32	胃曲線研究	20	5	25
1933-37	圧診法研究	32		32
1938-42	九大最終期	19		19
不明		1	1	2
計		109	11	120

表2 論文発表資料の分布

発表資料	論文数
福岡医科大学雑誌	13
実地医家と臨牀	11
診断と治療	9
実験医報	8
臨牀の日本	8
日本内科学会雑誌	6
台湾医学会雑誌	5
東京医学会雑誌	5
九大医報	4
東京医事新誌	4
九州医学会会誌	3
診療と経験	3
消化器病学	3
その他(22誌)	25
計	107

MEMO



## 口頭発表B

# 研究データ管理支援人材に求められる標準スキルの 策定とその活用

尾城 孝一, 古川 雅子, 常川 真央  
国立情報学研究所

オープンサイエンスの世界的な潮流や研究公正の確保を背景として、論文等のエビデンスとしての研究データの管理が大学等の学術機関において喫緊の課題となっている。海外の多くの研究大学等では、図書館、研究支援部門、及びIT部門などが連携して、組織的に研究データ管理サービスを提供している。また、研究データ管理サービスを実践する専門職に必要なスキルを特定しようという調査や研究が数多く行われている。

わが国においても、2013年に開催されたG8の科学大臣会合の場で、研究データのオープン化を確約する共同声明が出され、それに日本も調印したことを皮切りとして、内閣府や日本学術会議を中心に、オープンサイエンスの政策面での議論が進んでいる。また、文部科学省は、研究活動における不正行為への対応として、研究データの保存に関するガイドラインを示している。

このように、日本においても、オープンサイエンスや公正な研究活動の推進について、政策レベルでの議論は活発に行われてきたが、研究の現場である学術機関では、組織的な研究データ管理はほとんど実践されていない。海外の大学等と同様に、日本の学術機関に研究データ管理を定着させるためには、研究者を支援する各種のサービスを実践する人材の基盤の構築が不可欠である。

こうした背景の下、国立情報学研究所は、海外の文献や教材、及びURAやアーキビスト等の類似の専門職の職務基準に関する資料に基づき、研究データ管理を支援する人材に求められる標準的なスキル（知識及び技能）一覧を作成する作業に着手した。これまでに、学術機関における研究データ管理支援に必要とされるスキルを洗い出し、それらを研究プロセスに応じた支援業務に沿って体系的に整理した。次に、研究データ管理に関する既存の日本語版教材とスキルの突合せを行い、さらに、大学図書館での業務に求められるスキルとの照合を試みた。その結果、既存の日本語版教材が扱っていないスキルが存在することが明らかになった。また、標準スキルの中には、大学図書館員の知識や技能ではカバーできないスキルもあり、研究データ管理サービスを実践するには、研究支援職員や技術系職員との協働が不可欠であることが判明した。こうした知見は、今後の教材開発や学術機関における支援の組織モデルの構築にとって有益であると考えられる。

本発表では、研究データ管理支援人材に求められる標準スキルの作成状況について報告し、新たな教材開発や学術機関における研究データ管理支援の組織モデルの構築への適応の可能性について、今後の計画も含めて考察する。



# 更なる“図書館員力”アップのすすめ

－ IAAL 認定試験の軌跡から －

岡田 智佳子

特定非営利活動法人 大学図書館支援機構

特定非営利活動法人（NPO 法人）大学図書館支援機構（略称：IAAL）は、「大学図書館及びその利用者に対して、研修及び業務支援に関する事業を行い、大学図書館の継続的發展を通して学術研究教育に寄与すること」を目的として、2007年6月25日、東京都の認証を受けて設立されました。その事業の柱として2009年から「IAAL大学図書館業務実務能力認定試験」（以下、IAAL認定試験）を開始し、今年で11年目となります。

医学情報サービスという、図書館業務の中でも変化の激しい現場で利用者ニーズに応え続けるには、日々の自己研鑽が重要であることは言うまでもありません。その際、最新情報のアップデートは勿論ですが、時には図書館業務におけるベーシックな知識を振り返ることも必要になるのではないのでしょうか。IAAL認定試験の運営の経験から、それらの自己研鑽のヒントをご提案したいと思います。

IAAL認定試験は、大きくわけて「情報サービス」と「総合目録」の2種で構成されています。「情報サービス」では、主題を限定しない広い知識を問います。「総合目録」では、NACSIS-CATの基礎から応用までを問います。NACSIS-CATといえば、今まさに「CAT2020」とその先にある「2022」へ向けての変化の真っ只中にありますが、目録面での基本はほぼ変わりませんので、これからもIAAL認定試験の果たす役割は大きいと自負しています。

## 【試験科目体系】

科目		範囲
総合目録	図書初級	NACSIS-CATにおける図書の検索から所蔵登録の範囲
	雑誌初級	NACSIS-CATにおける雑誌の検索から所蔵登録の範囲
	図書中級	NACSIS-CATにおける図書の書誌登録の範囲
	雑誌中級	NACSIS-CATにおける雑誌の書誌登録の範囲
情報サービス	文献提供	利用者の求めに応じて資料を提供する能力

IAAL 認定試験ホームページ： <http://www.iaal.jp/examination/index.shtml>

# The International Federation of Library Associations and Institutions (IFLA: 国際図書館連盟); Health and Biosciences Libraries Section (HBS) 活動紹介

佐藤 正恵

IFLA HBS ; Corresponding Member

## 1. IFLA (イフラ) とは

IFLA は、図書館情報サービスとその利用者の利益を代表する主要な国際機関であり、図書館と情報専門職のための組織である。IFLA は独立した国際的な非政府・非営利の団体であり、スコットランドのエジンバラで1927年に設立された。現在は世界140カ国以上約1,400人の会員を有する。1971年よりオランダのハーグにある王立図書館（オランダ国立図書館に該当）に本部が設置されている。IFLAのねらいは、図書館および情報サービスの提供および高水準の推進である。中でもIFLAは国連防災局（UNISDR）の「SENDAI Framework（仙台防災枠組）」（2015-2030）と連携している。新たな防災と既存の防災のための行動のための原則と優先事項において、図書館は文化遺産を保護すると共に、二次的な救急サービス提供や健康知識ネットワークのノード（接点、中心点）である。

## 2. Health and Biosciences Libraries Section (HBS)

IFLAには44のセクションがあり、HBSセクションは健康とバイオサイエンス関係の図書館に関する活動を行っている。その目的は、生物科学図書館と健康科学図書館の間の協力の促進や関連する新しい技術の開発と適用の促進、消費者へのヘルスケア情報のより良い提供のための手段の検討、生物学および医学科学図書館の国内および国際図書館協会間の協力活動の促進、世界保健機関（WHO）および他の関連国際機関との協力の促進である。特にIFLA Evidence for Global and Disaster Health Special Interest Group[E4GDH]は、2018年から4年間のプロジェクトである。地球規模および災害時の健康に関するエビデンスに関して、図書館員とそのサービスが果たす重要な活動に対し、災害への備えやリスクの軽減など情報の編集・評価・展開を行っている。

## 3. 年次大会

毎年7-8月に年次大会が下記のように世界各地で開催され、世界から3,000人以上が参加している。日本ではかつて1986年に第52回東京大会が開催された。年次大会では会議や講演、ポスター発表のほか、現地のライブラリーツアーも数多くのコースが用意される。

2021年：EU（予定）\* プレトリア（南アフリカ）第13回医学図書館員会議（ICML）開催

2020年：(未定)      2019年：アテネ（ギリシャ）

2018年：クアラルンプール（マレーシア）      2017年：コロンバス（アメリカ）

【参考資料】 IFLA Webサイト <https://www.ifla.org/>

## 気が付けば、非正規雇用で15年 不安を愉快に変える処方箋は、いかがですか？

北川 妥穂

国立精神・神経医療研究センター図書館

### 【はじめに】

最初から非正規雇用の働き方を選択したわけではない。経験のない図書館勤務を体験するために、就活の末巡り合えたチャンスが、非正規雇用だった。初めての図書館勤務で感じたことは、職員様との温度差だった。今日まで培ってきたものの、重さが違う。経験の差だけで片付けられない何かがある。何が違うのか。図書館司書としてカウンター業務を遂行する私とは、明らかに何かが違う。その疑問を解決する手段として選んだのが、研修参加だった。

### 【経緯】

恵まれた環境だった。ILLで文献複写申込み、論文の取得や、新人研修への参加を、職員様が快諾して下さったことは、今でも感謝している。これがきっかけとなり、勤務のない日や有給休暇を利用して、講習会やセミナーに自費で参加するようになった。

もう一つ、私にとって良かったことは、参加した講習会、セミナーの報告義務がなかったことだ。「研修参加報告書」を提出する煩わしさは、会社員時代の苦い思い出だ。どこへ行こうが、何に参加しようが、交通費、参加費、全て自費である。得た情報、知識の報告義務がないのは、実に愉快だった。束縛されることなく、自分のための教育を、自ら選択して、実行できることは至福の極みである。

図書館司書として研鑽を積むことに、正規も非正規も関係ないと思う。どのようなカタチであろうと、考え次第ではないだろうか。どういう司書を目指すのか、なりたい司書になるために、何をすべきなのか、探求することに勤務形態は関係ないと思っている。リスクはあるが、束縛のないこの環境を、今となっては手放すのが惜しい。

いつかは正規職員になれると思っていた。そのために、図書館業務の経験を積むこと、研鑽を積むことに一生懸命になった結果、非正規雇用での勤務が現在も続いている。それなりに自由な身分を楽しみながら仕事をしている。非正規雇用はそれでいいと思っている。なぜなら、来年の保証がないから。失職する可能性は五分五分だから。できる今を、精一杯自分のために使う。これでいい。

### 【終わりに】

就業の保証、収入の安定を鑑みれば、正職員であることが望ましいのは言うまでもない。しかし、非正規雇用だからこそ、出来ることがある。職場の仲間とGive and Takeの精神で助け合い、知り得た情報、知識を全て自分のものにしなが、現在に至る経緯をご報告させて頂く。マイナス思考をプラスに変える処方箋にして頂ければ、幸いである。

(※2018年3月看護図書館情報研究会第7回研究会の発表を、追加・修正しました。)

MEMO



## 口頭発表C

## 国立大学病院における「患者図書室」の現状と課題

折井 匡  
信州大学医学部図書館

### 【調査の目的】

大学病院をはじめとする総合病院等において、患者サービスの一環として病院内に、情報提供の場となる患者図書室が設置されている。医療・健康情報を求めて来た患者・家族など（以下「利用者」と言う）に対して、患者図書室より十分な情報提供がなされているか調査した。調査結果を基に、十分な情報提供ができない患者図書室であっても、どうすれば利用者が求める情報を提供できるか研究した。

### 【調査の方法】

42 国立大学病院の患者図書室を対象としたアンケート調査を実施。2007 年に発表された先行調査を参考に、・提供する図書の選定方法・提供資料の入手方法・相談のあった利用者への対応方法・医学部図書館や公共図書館との連携などを調べた。アンケート結果から、興味ある事例として、島根大学・鳥取大学・名古屋大学の各病院患者図書室を抽出し、実地調査を行った。

また対応する各大学の医学部図書館に患者図書室との連携状況も調査した。

### 【調査結果と考察】

42 の国立大学の 46 大学病院にアンケートを行い 40 大学病院から回答を得た。

#### (1) 調査結果

- ①患者図書室がある大学病院は増えている（61%→70%）が、医療情報を積極的に提供している図書室は少なく、小説などの娯楽図書を置いてある図書室が多い。入院患者にだけ貸出・閲覧可の図書室が増え、誰にでも貸出している図書室は減少した。（45%→39%）
- ②恒常的に予算措置されている図書室は増加したが、63%は予算がない。
- ③司書が関与している図書室は25%と少なく、ボランティアが運営している図書室が多い。また、無人の患者図書室は29%に及んでいる。
- ④大学の医学部図書館と何らかの連携しているのは18%で82%が実施していない。
- ⑤公共図書館との連携は79%が未実施だが、積極的に交流している患者図書室もある。

#### (2) 考察

- ①一部を除く多くの患者図書室は、十分な医療・健康情報の提供がなされておらず、入院患者向けの娯楽図書の提供が多い。また名ばかりの患者図書室も存在している。
- ②多くの患者図書室は、利用者への情報提供が今後も困難であり、病院から利用者への情報提供は、わかりやすい Web での提供等が良いと思われる。
- ③患者図書室を調査する中で、公共図書館では積極的に「医療・健康情報」を収集し市民へ提供していることが判明した。今後は公共図書館との連携が必要と思われる。

※本研究は JSPS 科研費（奨励研究）18H00008 の助成を受けたものである。

# 高齢者のヘルスリテラシー向上のための教材開発と教育方法の提案

三輪 眞木子<sup>1)</sup>, 佐藤 正恵<sup>2)</sup>, 山下 ユミ<sup>3)</sup>, 磯部 ゆき江<sup>4)</sup>, 阿部 由美子<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 放送大学, <sup>2)</sup> 千葉県済生会習志野病院図書室, <sup>3)</sup> 京都府立図書館, <sup>4)</sup> 日本図書館協会

急激な勢いで高齢化が進む日本では、高齢者層の健康管理が重要課題となっており、健康寿命の延長方策が求められている。患者には病気の診断を受けた際に、最新の医療情報を獲得して納得したうえで治療を受けること（インフォームド・コンセント）が望まれている。最新の医療情報の多くはインターネット上で提供されており、病気の治療に関する科学的根拠のある情報を獲得するには、インターネット上の医療情報を検索し評価できるヘルスリテラシーのスキルが必要である。しかしながら、高齢者は若年層と比較して病気になる確率が高いにもかかわらず、年齢によるデジタルデバイドゆえにインターネット上の医療情報へのアクセスが制限されている。本研究はこの点に着目し、ヘルスリテラシーに関する年齢によるデジタルデバイドの低減方策を、以下の方法により提示することを目的としている。

1. 高齢者のヘルスリテラシーに関連する先行研究の包括的レビュー（2019年）
2. 患者のヘルスリテラシーに関する医療従事者へのインタビュー（2019年度）
3. 高齢者の医療健康情報行動に関するインタビューと観察（2020年度）
4. 調査結果に基づく高齢者のヘルスリテラシー学習モデル構築（2020年度）
5. 構築した学習モデルに基づく教材の開発と学習モデルの検証（2021年度）

本研究が対象とする主要概念は、「ヘルスリテラシー」と「デジタルデバイド」である。

ヘルスリテラシーは「健康情報を入手し、理解し、評価し、活用するための知識、意欲、能力であり、それによって、日常生活におけるヘルスケア、疾病予防、ヘルスプロモーションについて判断し意思決定をして、生涯を通じて生活の質を維持・向上させることができるもの」と定義されている。

デジタルデバイドとは、コンピュータやインターネットやオンライン情報へのアクセス手段を持つ者の集団と持たざる者の集団の間にある格差で、地域による格差（インターネットやブロードバンドアクセスの地域差）と、個人間の格差（身体条件、社会的条件、年齢、性別、学歴の差異に伴う違い）がある。個人間格差の主たる要因は、年齢、性別、教育、および専門的実践であり、年齢は最大要因である。

本研究は、これまで十分論じられてこなかった医療情報アクセスにおける年齢によるデジタルデバイドに着目し、高齢者のヘルスリテラシーの実態を明らかにする。また、デジタルデバイド低減による高齢者のヘルスリテラシー向上を推進するための学習モデル構築とモデル教材開発・検証により、ひとつの課題解決策を提示する。本研究を通してインターネットのアクセスに制約のある高齢者にとって効果的なヘルスリテラシー教育を提案することで、高齢化が進展する日本社会における健康寿命延長への貢献が期待できる。

# 公共図書館における医学書の蔵書構成分析

児玉 閲

東邦大学医学メディアセンター

## 1. はじめに

東邦大学医学メディアセンター（MMC）では、患者図書室サービスを行っていることもあり、公共図書館から質の高い医学書の選書についてなどの相談をたびたび受けてきた。しかしこれまで現状の公共図書館に備えられている医学書の実態を知ることはなかった。今回、某公共図書館（A館）から、所蔵する医学書情報を利用させてもらえる機会を得たので、大学の医学図書館、病院の患者図書館との比較から、公共図書館における医学書蔵書構成を分析した。

## 2. 方法

A館で医学に分類される図書26,672冊について、MMC、東邦大学医療センター大森病院からだのとしょしつ（からだ）が所蔵する医学書（それぞれ57,496冊、1,153冊）、出版年、分類、出版社の分布を比較した（冊数は、2018年10月1日現在の書誌数）。MMCは大学の医学図書館、からだはMMCが事実上運営している患者図書室である。からだは患者以外にも利用でき、医療・健康情報サービスにおいて公共図書館と類似の施設といえる。

## 3. 結果と考察

出版年については、A館とMMCは過去から現在にかけての分布が似ており、A館でも医学書の受入が進んでいることが窺えた。からだの蔵書は、最近の資料に集中していた。分類については、いずれも偏りがみられた。A館では「精神医学」「食品衛生・食事・栄養」「ダイエット・健康」関連の医学書が突出していた。利用者ニーズ、利用者からのリクエストが考慮された結果と考えられる。からだでは「消化器系」「小児科学」「精神医学」が目立って多かった。MMCでは「婦人科学・産科学」「眼科学」「耳鼻咽喉科学」「歯科学」などの医学書が、他分類に比べ少なかった。出版社については、MMCの多くが医学専門出版社であるのに対し、A館は非医学専門出版社が大勢を占めた。からは医学専門出版社が多いが、講談社と主婦の友社が上位に入り、これはA館と似た傾向だった。両社とも一般市民向けの医学書を多く扱っていることからこのような結果になったと思われる。

## 4. 結論

A館の医学書蔵書構成について、出版年、分類、出版社の分布を中心に、MMC、からだとの比較しながら分析した。A館では新しい医学書は増えており、医学書を充実させる意欲がみられた。分類の偏り、非医学専門出版社の医学書が多い点は、公共図書館ならではの傾向といえるが、一部、からだとの共通点もみられた。今回の分析から、分類と出版社を若干見直せば、これまでの利用者ニーズに応えつつ、質の高い医学書を備えることができると考えられた。



## 都道府県立図書館での医中誌 Web の提供について

山下 ユミ

京都府立図書館

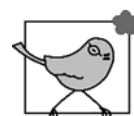
公共図書館が提供する情報には、医療・健康情報が含まれる。市民が健康・医療情報を調べたいと思うとき、古くなった知識や、現在では行われていない治療の情報などは役に立たず、害がある場合もあるため、できるだけ新しい情報を提供することでニーズを満たすことができる。最新の信頼できる医療・健康情報を得ようとする場合、雑誌論文やデータベース等の情報を、図書資料と併せて利用することが望ましい。そういった情報を入手できるのは、一般市民にとって一番身近な場所は公共図書館、中でも都道府県立図書館であると考えられる。

公共図書館は、一次資料である医学分野の雑誌については十分に所蔵していない場合もあるが、大学図書館など、所蔵している図書館につなげることができる。そこで、まずは文献データベースを提供して、検索結果から必要な文献を特定し、一次資料につなげるという役割を積極的に果たしていくべきである。

京都府立図書館では、医中誌 Web を契約して提供しているが、一般市民の利用は多くない。その理由はいくつか考えられるが、一つの理由として、公共図書館で医中誌 Web を提供する場合に、このデータベースの特長を活かしきれていないということがある。医中誌 Web の検索結果からオープンアクセスになっている電子ジャーナル文献へのリンク、また、電子ジャーナル文献を閲覧できた場合に、その文献をプリントアウトして提供できているかといったことが、大学図書館と比較して公共図書館で十分に提供されていない可能性がある。

そこで本研究では、この問題にフォーカスして、都道府県立図書館で医中誌 Web を導入している館を対象に調査を実施することとした。公共図書館における医中誌 Web の提供は、大学図書館や病院図書室における提供とは異なるものであり、今後、どのように情報を提供していくことが望ましいのかを提案できればと考えている。

MEMO



## ポスターセッション

## メディアドクター指標を活用したワークショップにおけるヘルスリテラシー向上の取組み

佐藤 正恵<sup>1)</sup>, 北澤 京子<sup>1)2)</sup>, 渡邊 清高<sup>1)3)</sup>

1) メディアドクター研究会, 2) 京都薬科大学, 3) 帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科

**【背景】** 医療・健康情報の入手は、近年インターネットを通じてより身近になっているが、日本人は国際的にみて欧米に比べてヘルスリテラシーが低いという報告がある。

一方で、公共図書館では課題解決型サービスとして、医療健康情報が重要なファクターとなっている。市民だけでなく図書館員においても、情報を吟味し適切に選択する「インフォームド・チョイス」のための知識や実践がより重要である。

**【方法】** メディアドクターとは、医学記事の質を向上させるために、「メディアドクター指標」を尺度として、社会に発信された医療・保健記事を臨床疫学などの視点から評価する活動である。2004年にオーストラリアに始まり、各国で実施されてきた。日本では2007年に「メディアドクター研究会」が発足した。現在、年数回の定例会では、医療関係者・ジャーナリスト・学生・司書・市民などさまざまなバックグラウンドを持つ参加者により、(表)の指標に基づく記事評価やディスカッションが活発に行われている。

(表) 日本版メディアドクター指標 2018 簡略版

評価項目	説明
1. 利用できるか	利用可能か、どのような人の利用に適しているか、正確な情報を提供していますか？
2. 選択肢	ほかの選択肢と比較していますか？
3. 科学的な根拠	効果について、科学的な根拠を踏まえて書かれていますか？
4. 不利益と費用	不利益（副作用や後遺症など）や費用について適切に述べていますか？
5. 見出しと内容	見出しは内容について適切に記述していますか？

\* メディアドクター研究会作成。無断での引用・転載・複製を禁じます。

**【結果】** 定例会参加者の満足度は高く、身近な存在である新聞やインターネットの医療・保健に関するニュースを演習形式のワークショップを通じて、見極め方を理解し、ヘルスリテラシーと情報リテラシーを身につけることができる。

さらに2018年からは「出張版ご当地メディアドクター」を開始し、日本各地で患者会や公共図書館、病院図書館などと共催で2019年12月までに6か所での開催を予定している。

第36回医学情報サービス研究大会（2019年8月12日、九州大学）における「参加者企画」として開催するにあたり、ポスター発表にて指標と「出張版ご当地メディアドクター」等さまざまな取組みを紹介する。

\* メディアドクター研究会：<http://mediadoctor.jp/>

## 医療系図書館員の課題解決に向けた 地域発勉強会の成果と課題

—千葉県EBM勉強会の進化と広がり—

村上 早苗<sup>1)2)</sup>、小田 伊佐子<sup>1)3)</sup>、佐藤 正恵<sup>1)2)4)</sup>、山口 直比古<sup>1)2)5)</sup>

1) 千葉県EBM勉強会, 2) 日本医学図書館協会 (JMLA) 正会員個人, 3) 東葛病院図書室,  
4) 千葉県済生会習志野病院図書室, 5) 聖隷佐倉市民病院図書室

【背景】医療系図書館員には専門的な主題知識や広範な知識が求められるが、各職能団体が開催する研修会は年数回にとどまる。特に小規模な図書室や雇用形態、地域の状況によっては研鑽の機会は限定的であり、より実務的な研修の必要性が課題である。

【方法】上記の課題解決のため、筆者らは2017年に千葉県内の医療系図書館員の有志により千葉県EBM勉強会を発足した。参加者は公募し、雇用形態や経験、館種に関わらず個人の立場で自由に質問や発言ができる場を目指した。各回の内容は参加者アンケートを参考に「JMLA 専門職能力開発プログラム」に沿って幹事が相談の上決定している。参加者募集は医学・病院図書館系のメーリングリストとFacebookで行い、さらに毎回、日本医学図書館協会の継続教育「JMLA-CEコース」の認定を受けている。

【結果】2019年7月までに7回開催した[表1]。会場は図書室や無料の会議室等で、座学だけではなく、少人数の実習や事前課題によるアクティブ・ラーニング、レファレンス・カンファレンス等を行ってきた。日常業務での課題解決の相談や人脈作りの場ともなっている。アンケートの満足度は高く、県内だけでなく全国から参加希望が増加したため、第6回からはオンライン会議システムZoomを用いて遠隔参加も開始した。

[表1] 千葉県EBM勉強会の日時・テーマ (参加者数・Web参加)

2017/9/2	第1回: 医学情報資料論と PubMed / 医中誌 Web 検索中級レベル (10)
2017/11/11	第2回: PubMed 中級研修【検索演習】 (10)
2018/3/3	第3回: 看護系レファレンスを究める (23)
2018/5/27	第4回: Google・Google Scholar 使いこなし 今日の検索指針～私はこう検索している 2018 ①看護編・がん編 (13)
2019/9/8	第5回: MeSH Perspective & PubMed 検索演習 - 目指せ! MeSH & 検索マスター (13)
2019/1/19	第6回: 医学論文・看護研究 - Librarian が知っておくべきこと - 論文の種類・読み方から学術支援まで、「頼れる司書」を目指そう! (23・2)
2019/7/14	第7回: 緊急! PubMed はこう変わる? / 6S ピラミッドとデータベース使い分け (20・4)

【考察】毎回全国から参加申込や反響があり、実務型研修のニーズは高い。またオンラインの活用は負担軽減・研修機会の格差是正に役立つ。地域発の勉強会が継続し進化するためには、事務負担の分散を図り、開催記録を残すことが重要である。

## ゲーム性を取り入れた「図書館演習」の効果と今後の課題

古谷野 ありさ, 佐藤 菊代, 川崎 かおる

岩手医科大学附属図書館

### 1. はじめに

岩手医科大学附属図書館では、全学部（医学部、歯学部、薬学部、看護学部）新入生が履修する「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の中で、各クラス50名～90名に対し1コマ（90分）で資料の探し方についての講義を実施している。個々に異なる課題 ①書誌事項から検索する、②疾患内容から検索する課題（疾患名で検索しても、該当する図書がOPACでヒットしないテーマ）を配布し、OPACの使い方や図書の探し方を実習形式で教えている。今回は、2018年度より改訂した講義内容について報告する。

### 2. 問題点

2017年度までは、②についてグループワーク形式（4～5人）としていたが、グループ内で役割分担が出来てしまう等、検索の流れを1人ずつが体験出来ていない状況であった。

### 3. 変更点

他館の事例等を参考に、下記のとおり講義内容を変更した。

- ・課題②について、1人1題に変更
- ・検索はスマートフォンを使用（蔵書検索アプリをインストール）
- ・内容を「手がかりをヒントに盗まれた「命の書」を見つけ出す」というストーリー仕立てに変更し、課題①、②の表記も「Mission1, 2」に変更する等、ゲーム性を持たせる

### 4. 効果と課題

#### 【効果】

実施内容の変更により、全員が資料検索の流れをひと通り体験出来るようになった。

また、講義内容についても「宝探しのようで面白い」「楽しい」という感想が多く寄せられるようになり、資料の探し方をより効果的に、楽しみながら学習することが出来ているようである。

#### 【課題】

特に課題②に関し、予備を含め、およそ100題の準備と検証に掛かる負担が大きい。

疾患名そのものが書誌事項に含まれる図書を新規受入した場合や、選定した疾患内容の難易度が高すぎる等、前年度の講義で用意した課題が次年度では使用出来なくなるケースがあり、当初想定していた以上に講義前の確認作業が発生した。

内容の改定により、講義の効果は向上したと推測される。今後も継続して講義を実施するために更なる工夫が必要である。

## 東邦大学医学メディアセンター本館における 改修前後の入館者の分析

村上 千晶

東邦大学医学メディアセンター

東邦大学医学メディアセンター本館（以下、当館）は2017年9月～2018年2月にかけて大規模な改修を行い、2018年3月に新しい環境でのサービスを開始した。これまで約30年間1階と2階の2フロアに分かれた構成になっていたが、全機能が1階部分に移り、隣接していた学生用自習スペース（自修館）を取り込んで1フロアの構成となった。延床面積は約1割減少したが、座席数は約1割増加した。また、書架の配置を変更したほか、小説などの一般書を利用できるコーナーや、展示のための空間を新たに設置した。改修前の2016年度年間入館者数は約8万4千人であったが、改修後の2018年度は約14万7千人となり、約1.7倍であった。本研究では、この利用者の増加に着目し、利用者層と滞在時間がどのように変化したかを明らかにする。

調査には入退館ゲートのデータを用いた。当館の入退館ゲートは、入退館時に利用者がかざす身分証を読み取り、入退館時間と利用者の識別情報を記録する。これらの記録から利用者属性別の入館者数、ユニーク利用者数、滞在時間を算出し、改修前後で比較した。

図1は、2016年度を1としたときの2018年度の入館者数の比を、利用者属性別に示したものである。学生については、医学部学生が2016年度の約1.8倍、看護学部学生が約3倍となり入館者数が増加していたが、習志野キャンパス所属の学生は減少していた。学部教職員については、医学部は約1.3倍となっていたが、看護学部と習志野キャンパス所属の教職員は減少していた。病院教職員は、大森病院が1.1倍、大橋病院と佐倉病院が1.6倍で、3病院ともに増加していた。これらことから、改修によって利用者の変化があったことは明らかである。

結果のより詳しい分析ならびにユニーク利用者数、滞在時間等の分析については、当日ポスターで発表する。

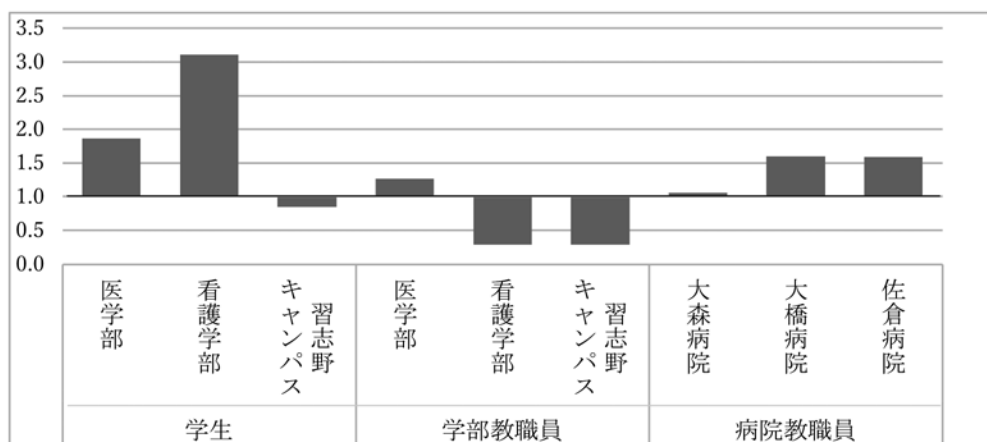


図1 2018年度利用者属性別入館者数 対2016年度比

## 基礎医学科目の教科書・参考書調査の報告

亀井 雄大, 橋本 郷史, 児玉 関  
東邦大学医学メディアセンター

医学教育はコア・カリキュラムに則って行われているが、カリキュラムの中で教科書・参考書まで定められているわけではなく、どの大学でも独自に指定した教科書・参考書を使用している。他の大学で使用している教科書・参考書の情報は本学医学生の医学書選択の幅を広げることにつながる。と考え、関東私立医科大学を対象に、大学で使用している教科書・参考書情報の調査を行った。その結果、本学を含めた15大学の情報を収集することができた。このデータを集計し、学内の学生向けに、多くの大学で使用している教科書を紹介する展示会を開催し好評を得た。今回のポスターでは、収集した教科書・参考書データを分析した結果を報告する。

この調査では、基礎医学科目（解剖学、生理学、生化学、微生物学、寄生虫学、薬理学、免疫学、病理学、法医学、衛生学、公衆衛生学）を対象とした。講義別に教科書・参考書を記入するExcelファイルを各校に送付し、対象となる基礎医学科目について記入して提出してもらった。

表1は使用大学数ごとの教科書・参考書数である。15大学で使用している教科書・参考書のユニークなタイトル数は計1,022タイトルで、このうち2大学以上で使用しているもの（以下、複数大学使用教科書）は253タイトル（約25%）であった。

次に1大学のみで使用している教科書・参考書（以下、1大学使用教科書）と複数大学使用教科書では、特徴に差があると考えて比較を行った。最近5年以内には出版された資料の割合は、1大学使用教科書で約26%に対し、複数大学使用教科書で約51%だった。洋書の翻訳タイトルの割合は、1大学使用教科書で約19%に対し、複数大学使用教科書で約38%だった。

複数大学使用教科書の方が、資料の出版年が新しく、また翻訳タイトルの割合が高いということが分かった。この結果に加えて、ポスターでは複数大学使用教科書について科目別に行った比較を報告する。

表1. 使用大学数ごとの教科書・参考書数

使用大学数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
タイトル数	769	111	60	19	18	13	7	9	8	1	3	2	1	1	1,022



## PubMed の変更と検索行動への影響

阿部 信一

東京慈恵会医科大学学術情報センター

米国国立医学図書館（NLM）が作成、公開する PubMed は、1997 年の公開以来 20 年以上を経て、代表的な医学関連分野のデータベースとして今や欠かせない存在となった。PubMed のデザインや機能はこれまでも何度も変更が行われてきた。変更があまり頻繁であるため、PubMed のマニュアルは作るそばから改訂が必要となり、印刷形式には不向きとされた。現在、PubMed labs として公開されているテスト版の PubMed が、2019 年 9 月より正式な PubMed として運用されることが公表された。現在の PubMed の利用環境はほぼ半数はモバイル端末やタブレット端末からの統計があり、PubMed のデザインも感覚的に操作しやすいデザインを志向していると言われている。新しい PubMed が検索行動にどのような影響があるか、過去の変更も振り返りながら、検証した。



PubMed labs のトップ画面

これまでの PubMed の主な動き

1996 年	実験公開開始	2010 年	Abstract が構造化抄録形式に
1997 年	一般公開開始	2011 年	PubMed Mobile（ベータ版）公開
2002 年	Clinical Queries に Systematic Review が追加	2012 年	Limits 機能がサイドバーのフィルターに変更
2003 年	マッピングに Publication Type が追加	2013 年	検索結果の表示順に関連度が追加
2005 年	RSS フィード利用可能	2014 年	データ更新作業が週 5 日から毎日
2009 年	Auto Suggest 機能が追加	2015 年	Summary 形式表示からステータスが削除
2009 年	Limits 機能が Advanced search へ統合（デザイン的大幅な変更）	2017 年	PubMed Labs 公開

# 日本赤十字九州国際看護大学図書館における 1年生対象 情報検索ガイダンスの課題

－受講者アンケートによる分析－

多川 綾子, 白倉 理絵, 松本 英里, 伊東 泰子

日本赤十字九州国際看護大学図書館

## 1. はじめに

日本赤十字九州国際看護大学図書館では、毎年、看護学部1年生の必修科目「基礎力総合ゼミナールⅠ」(以下、基礎ゼミⅠ)と連携し、演習を中心とした情報検索のガイダンスを行っている。

ガイダンス後には、学生へのアンケートを実施し、内容の見直しを行ってきたが、細かな分析にまでは至っていなかった。今回、過去5年間のアンケート結果(自由記述)から、学生が情報を検索する際、どのような点で困っているのか、ガイダンスで何が分かったのか、分からなかったのか等、問題点や課題を見つける。

## 2. 基礎ゼミⅠとガイダンスの内容

基礎ゼミⅠは、「大学生としての学修方法を認識し、積極的に学ぶ姿勢を身につける」ことを目的としている。約100名の1年生を、10名程度のグループに分け、ゼミ別に授業がすすめられている。15回の授業時間中、2回目または3回目に合同学習の時間が設けられており、図書館はその時間(90分)に情報ガイダンスを実施してきた。

ガイダンスの内容は、DVD(レポートの作成)の視聴、OPAC、データベースを使った文献検索(演習形式)、出典の書き方の説明等である。

2018年以降、科目担当教員による授業内容の見直しが行われ、図書館では情報検索方法のみを指導してほしいとの要望があった。2019年からは時間も40分と短縮されたため、図書館ではガイダンスの内容と時間配分を再検討した。

## 3. 問題点、今後の課題

先述のように2018年以降は、ガイダンス内容の変更、時間の短縮、また、アンケート方法も変更したことにより、①2015～2017年、②2018～2019年と分けて分析する。

詳細は、研究大会当日に発表する。

## リポジトリの過去・現在・未来

浦上 みつ子

順天堂大学学術メディアセンター

明治20年(1887)の学位令制定から今年で130年余りになり、昭和10年(1935)、それまで文部省が保管していた博士論文が帝国図書館に移管されてから80年余りがたつ。その間博士論文を集積する「リポジトリ」(貯蔵庫)の歴史の大部分は紙媒体の貯蔵庫としての歴史であった。平成25年(2013)にインターネットでの公開が義務付けられてから6年がたつが、この「発信するリポジトリ」としての歴史は、全体の10%にも満たない。こちらから情報を取りに行く貯蔵庫が発信する主体に転換したのはごく最近のことである。

貯蔵庫の発信者への転換は博士論文に限ったことではない。図書館機能自体が通信技術やデータベース技術の発達により、情報を取りに行く場所としてだけでなく、発信する主体として社会の中に重要な位置を占めつつある。

膨大な情報を扱う図書館・リポジトリの体系の中であって、学位論文は情報のひとつであると共に、学位の証という性質を持つ。学位令制定当時、数十人であった大学院在学者数は平成15年には20万人を超える。大衆化に伴い、ディプロマミルなど、学位の質保証に関わる現象も顕在化した。

学位論文のインターネットによる公開は、優れた論文に多くの人がアクセスできるようにという目的以外に、不特定多数による多面的な検証という側面を持つ。信頼される機関によって授与されたいわば質保証済の論文を貯蔵庫へ取りに行っていた過去の時代から、論文がインターネット上で自らを検証に曝すことを質保証のプロセスと考える人もいる。

私自身は学部卒の経歴しか持たないのだが、リポジトリへの学位論文登録の作業を担当する日常において、研究や臨床が本業の先生方に煩雑な事務手続きの負担がかかる現状や、論文の公開時期と特許の微妙な関係、複雑化する著作権など、ITの進歩と共にリポジトリは際限なく守備範囲が広がっていくように思う。静かな「貯蔵庫」に眠る紙の資料の長い時代から、始まったばかりの自ら発信する生き物となったコンテンツの時代を、どう未来につなげていくのか。次々に届くコンテンツの処理という目の前の仕事を抱えながら、数十年後、今日処理したコンテンツがどのような姿でインターネット上にあるだろうかと、ふと考えてしまうこの頃である。

2019年6月20日

# リハビリテーションに関する国内研究者の広がりについて

石立 裕子

帝京平成大学中野キャンパスメディアライブラリーセンター

## I. 背景と目的

高齢化などを背景にリハビリテーションの需要は高まっており、国内におけるリハビリテーションに関する文献（以下、リハ文献）も増加傾向にある<sup>1)</sup>。リハ文献を記事区分の割合で見ると、「解説」と「原著論文」の2区分で9割以上を占めている（図1参照）。「原著論文」の継続的な増加傾向は、リハビリテーションを対象とする研究者が増加している可能性を示していると考えられる。そこで本調査では、リハ文献の「原著論文」の著者を調べ、リハ文献の研究者の広がりを明らかにすることを試みた。

## II. 対象と方法

調査にあたり、文献検索は下記のとおり行った。

調査対象：1995年から2017年に刊行された国内誌に掲載されたリハ文献

抽出に用いたデータベース：医中誌 Web

検索日：2019年6月12日

検索式：リハビリテーション/TH and (DT:1995:2017) and (PT=会議録を除く)

研究者の広がりについては、1995年～2017年の間、リハ文献の収録が多い上位10誌に掲載されているリハ文献の筆頭著者の異なり数の推移を見ることとする。

調査結果及び考察については当日の発表をもって行う。

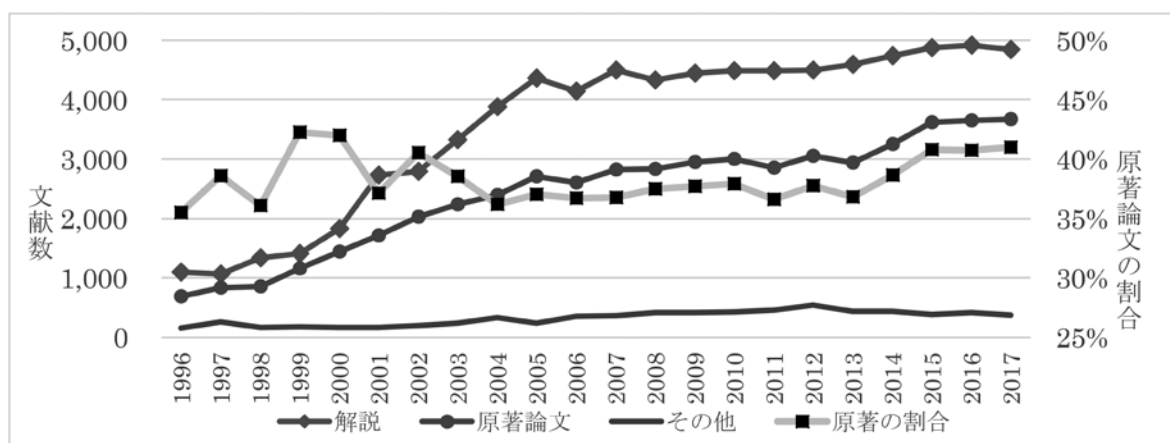


図1. 記事区分別文献数と原著論文の割合の推移

- 1) 石立裕子. リハビリテーションに関する国内文献の推移と傾向. 医学図書館. 2017, 64(2), p.79-86.

# 歴代HPからみる利用者サービスの変遷： 東邦大学医学メディアセンターの事例

大谷 裕, 黛 崇仁

東邦大学医学メディアセンター

東邦大学医学メディアセンター（以下、当センター）では、1995年にホームページの公開を開始し、2019年3月に、8年ぶりの大規模リニューアルを実施した。本発表では、歴代HPのコンテンツから当センターの利用者サービスの変遷をたどる。

## 第I期：1995年～2011年7月



- ・コンセプト  
2000年度の組織目標「非来館型図書館の構築」の達成すべく、利用者が図書館に来なくても学術情報を入手できる環境づくりを心掛けた。
- ・トピックス：診療ガイドライン情報  
2001年から診療ガイドライン情報のリスト公開を開始した。

## 第II期：2011年8月～2019年2月



- ・リニューアル内容  
各館のコンテンツを見直し、レイアウトを統一した。また「お知らせ」を中央に大きく配置することで情報発信に力を入れた。
- ・トピックス：電子リソースポータルページ  
電子資料の一覧や学外からのアクセス方法、Pay Per View (PPV) の利用方法など、電子資料に特化したページを設置した。

## 第III期：2019年3月～



- ・リニューアル内容  
各館ごとに構築していたHPを統一した。この中で「医学」「看護学」「薬学」「理学」のタブを設け、各種コンテンツを主題別にまとめた。
- ・トピックス：特定のテーマに注力した利用者支援  
「著作権」「Office」「文献検索」「文献管理」についてのヘルプデスクを設置した。

MEMO



## 参加者企画

## 看護図書館員のとまどい

～悩みや課題を共有し、仲間との協働を模索しよう～

看護図書館で働いていて、“他の図書館と何かが違う”と感じたことはありませんか？ 分類がNDCでなかったり、ほぼ通年で実習があってレファレンスや、資料構成（複本の多さ）に影響したり…等。医学図書館・病院図書室と共通することもあるけど少し違う、同じ看護でも、大学と専門学校は？

こんなときどうしたらいいの、今こんなことに困ってます、これでいいのか不安、改まって質問した事はないけど実は聞いてみたいこと、そんなことをみんなでランチを食べながら語り合ってみませんか。無我夢中で看護図書館に十数年・・・こんな風にやってきた。昔こんなことが知りたかったなど、ベテランさんの思い出話も聞かせていただけたらと思います。

分からないけど、一人だから誰にも相談できない  
夢中で業務をこなしてるけど、もっと良いやり方があるかもしれない  
他の図書館ではどんな風にやってるのか知りたい、聞いてみたい  
不安や疑問、今までの体験など、語り合いませんか

看護図書館の司書は少人数の場合も多く、相談できる機会も限られます。多くの参加者からの情報を共有し、日々の業務の悩みは自分だけではなく、共通の課題と実感できたら、と思います。

日本看護図書館協会 30 周年記念事業として「看護図書館管理運営マニュアル（仮）」の2年後の発行を企画しており、看護図書館の現場に役立つ内容を目指し、ランチオンミーティングをその第一歩としたいと思います。

看護図書館以外の方の参加も大歓迎です。皆様のご参加をお待ちしております。

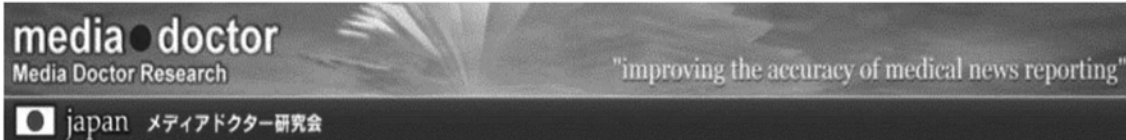
企画：日本看護図書館協会 30 周年記念事業実行委員会

委員長 今田 敬子（話題提供）、

委員 釜堀 千恵、石川 道子、唐澤 良英、清宮 葵、白川 智子

今泉 千代（日本看護図書館協会 30 周年記念事業実行委員会担当理事）





# メディアドクターin福岡

参加者

@第36回医学情報サービス研究大会(MIS36)

企画

8月12日(月・祝) 12:40-13:40

※ランチョンセミナー※先着35名

九州大学医学部百年講堂2F 第2会議室

テーマ：がんゲノムの医療報道をどう読むか

メディアドクター研究会とは、医療に関するメディア報道のあり方を勉強する会です。新聞報道の医学関係記事を中心に、国際的に用いられている指標を用いて検証します。身近な新聞記事をみんなで読み解いてみませんか？九州初開催です！



参加者企画お申込みフォーム：

<https://ssl.formman.com/form/pc/54OKThd9Moq3P0mV/>

MIS36(<http://mis.umin.jp/36/>)にも参加申し込みが必要です

企画提案者：メディアドクター研究会

渡邊清高(帝京大学)・北澤京子(京都薬科大学)・佐藤正恵

メディアドクターの取り組みによる医療健康報道の質向上に向けた研究

(令和元年度科学研究費助成事業)

## 絵本セラピー体験講座

～大人のための絵本セラピーを体験してみませんか～

企画提案者 平山 紀子（久留米大学医学図書館）

私が初めて絵本セラピーと出会ったのは、前職の時、九州地区私立短期大学図書館協議会の研修会でした。当時は保育科の学生の実習で使う絵本の相談業務にやりがいを感じながらも、図書館勤務のスタートが公共図書館だった私は、学生達が安易に絵本を実習で使う様子に、絵本の世界観を知らずに子ども達に絵本を手渡しているのではないかと危惧を感じていました。絵本のあれこれについて、地道に学生に対応する日々でした。

実は研修会に参加する前は、絵本セラピーの語感に、少しいかがわしさを感じていましたが、岡田さんの美しい読みきかせスタイルに安心し、そんな不安もどこへやら。絵本を読んでもらい、その絵本の中から切り抜いた事実を元に、絵本セラピストからの質問について、一人で考え、その後グループワークでシェアするという絵本セラピーのワークをすすめる中で、これは絵本の力を、大人に伝える素敵な技術だと確信しました。そして翌年に福岡で開催された絵本セラピスト養成講座で絵本セラピスト<sup>®</sup>の資格を取りました。

今回は、本格的な絵本セラピーを体験していただきたいと考え、より実践を積まれた私の同期の絵本セラピストの方に講師として参加していただきます。

みなさまのご参加をお待ちしています。

### 参考文献

岡田達信, 絵本はこころの処方箋, 瑞雲舎, 2011

岡田達信, 絵本はこころの架け橋, 瑞雲舎, 2016

講師：榊田 純 氏

講師プロフィール：

看護師（山口外科胃腸科病院）

絵本セラピスト協会認定 絵本セラピスト

日本ほめる達人協会 認定講師

BTUストレスカウンセラー資格取得

元こころの電話カウンセラー

MIS36 絵本セラピー体験講座

お申し込み先

<https://forms.gle/kh9dETeH4aiVfoq28>

絵本セラピー<sup>®</sup>は、絵本セラピスト協会代表の岡田達信氏が考案した登録商標です。

絵本セラピスト協会 <https://ehon-therapy.jp/>

**プロダクトエキシビジョン  
企業展示**

## 医学書院 オンライン製品のご案内

大谷 悠也  
株式会社 医学書院

医学書院のオンライン製品、「MedicalFinder」、「今日の診療」、「eナーストレーナー」についてご紹介致します。また、医書ジャーピー社より販売委託を受けている「医書.jp オールアクセス」についても合わせてご紹介致します。



【和雑誌電子ジャーナル】

- ☆全国の大学、病院で新規導入が増加しております
- ★閲覧数が多く見込め、費用対効果の高い製品となっております
- ☆医書.jp オールアクセスについては医学書院以外のタイトルも閲覧可能です



【診療情報データベース】

- ☆ベストセラー書籍「今日の治療指針」と「治療薬マニュアル」をベースに、各科の疾患や臨床検査情報も網羅。日常診察を強力に支援します
- ★診断学系コンテンツや医学辞書も収載しておりますので、学生や研修医の教育用データベースとしてもご利用頂けます
- ☆2018年10月に大規模アップデートを行い、新規検討が増えております



【看護技術・看護過程を網羅したデータベース】

- ☆2017年に続いて、2018年にもアップデートを実施致しました
- ★2019年に向けて新機能、新コンテンツを追加してまいります
- ☆なお、病院だけでなく、看護学校で定評あるテキストがベースとなるため、自習用データベースとして導入される大学が増えております

【お問い合わせ先】

(株)医学書院 販売・PR部 販売2課

TEL : 03-3815-5652 E-mail : y-ootani@igaku-shoin.co.jp

# メディカルオンライン

ーイーブックスライブラリーのコンテンツを中心にー

深水 俊英

株式会社メテオ

## 1. 日本臨牀社のコンテンツについて

メディカルオンライン「文献」および「電子書籍」でご提供している日本臨牀社のコンテンツにつきまして、一部配信制限の変更がございましたのでご案内いたします。



## 2. イーブックスライブラリーのご提供プラン

「年間購読制」「買い切り制」の二つのご提供プランをご用意しております。

すでにご存じの方が多数かと存じますが今一度整理し、ご説明いたします。



## 3. 新規配信出版社

「年間購読制」「買い切り制」で新たに配信を開始する出版社につきご紹介いたします。



# シュプリンガー・ネイチャー 2020年創刊ジャーナル: *Nature Cancer*

財津 与美

シュプリンガー・ネイチャー

■ *Nature Cancer* ([www.nature.com/natcancer/](http://www.nature.com/natcancer/))

がんは、世界共通の健康問題で、全世界のがん患者の数は2018年の1810万人から2040年には2950万人に増加すると予測されています\*。

\* 世界保健機構 Cancer Tomorrow [gco.iarc.fr/tomorrow/home](http://gco.iarc.fr/tomorrow/home)

*Nature Cancer* は、生命科学から臨床科学、材料科学、創薬、ならびにがんが社会経済に与える影響に関する研究に至るまで、さまざまな論文を掲載し、がん関連のユニークで専門分野の垣根を越える研究を、毎月発信していきます。

■カバーするトピック：

がんの生物学：分子経路や細胞過程（腫瘍開始細胞/がん幹細胞を含む）の調節が失われることによる発がん機構や腫瘍抑制機構に関する全般的なもの。

がんの遺伝学やゲノミクス：機能ゲノミクス解析や、ゲノム完全性やゲノム不安定性、突然変異の根底にある機構をはじめとした、がんの遺伝学やゲノミクスなど。

腫瘍の進化と不均一性。

腫瘍と宿主間の相互作用：腫瘍微小環境（分子的、細胞生物学的、物理学的）や全身性の影響など。

腫瘍の免疫学と免疫療法。

転移：がん細胞の播種や、二次的部位における定着や休眠、増殖の機構など。

治療法：新たな設計や送達、標的化療法、併用療法、プレシジョン・メディシン（精密医療）、治療抵抗性の研究など。

臨床研究：がんの診断や治療、予防に役立つもの。

がんモデルや方法論：がんの研究、診断、治療を目的としたもの。

システム生物学：がんの特徴づけや研究を行うための大規模な、あるいは単一細胞オミクスやマルチオミクス手法など。

社会的、倫理的、政策的な話題：がんの研究や予防、診断、治療に関わるもの。

【お問い合わせ先】 ※詳しくは、シュプリンガー・ネイチャーの展示ブースまでお越しください。

シュプリンガー・ネイチャー

インスティテューショナル・セールス コーポレート&ヘルス・チーム

Tel: 03-4533-8093 (代) Email: [support@springer.jp](mailto:support@springer.jp)

## 医中誌Web最新情報

寺脇 一寿

NPO医学中央雑誌刊行会

医中誌Webの最新情報をお知らせいたします。

### 1. 医学用語シソーラスを改訂 (2019年1月)

「医学用語シソーラス」は、医中誌データの索引・検索システムに用いられている用語辞書です。MEDLINEに用いられるシソーラス「MeSH」に準拠して、医学・歯学・薬学・看護学等の分野で使われている用語を体系的に整理したものです。

4年ごとに改訂しており、今回で第9版となりました。今回の改訂に伴う新設語や削除語などの一覧は下記URLよりご確認頂けます。

<https://www.jamas.or.jp/news/news103.html>



### 2. OLD医中誌を1959年まで遡及追加 (2019年3月)

1983年3月以前の医学中央雑誌は、活版にて作成していました。当会では当時の書誌情報も医中誌Webで検索できるようにするため、1983年3月以前の医学中央雑誌（冊子体）の書誌情報をデータ化する事業を行っています。

2014年から段階的にデータを遡及追加しており、今回の追加は4回目となります。これにより1959年分まで遡及が完了ということになり、追加済みのOLD医中誌データ数は合計約258万件となりました。

今後も、1903年の創刊号に向けて遡及追加を行ってまいります。



### 3. 今後の予定

- ・スマートフォン版にシソーラスブラウザを搭載  
シソーラスブラウザをスマートフォン版の画面でも利用頂けるようになる予定です。
- ・日本語でのPubMed検索機能の搭載  
医中誌WebからPubMedの検索を日本語で簡単に行えるようにする予定です。
- ・サジェスト機能の搭載  
ヒットした文献の類似文献を提示する機能や機械学習型の検索機能の搭載を検討しています。

その他、医中誌Webおよび最新看護索引Webの最新情報について、当会出展ブースにてご案内しております。ぜひお立ち寄りくださいませ。

# サンメディアのトータルeコンテンツソリューション

株式会社サンメディア e-Portカンパニー

## 【文献入手のための新しい Web サービス】 ARROW

文献入手をトータルにサポート



電子配信の ArticleDirect と、図書館へ手配して複写した文献を宅配や FAX でお届けするフルサービスドキュメントデリバリーをひとつのインターフェースから利用できます。著作権処理済みの文献をお届けすることで安心を提供。医中誌 Web や JDream III 等のデータベースの検索結果から注文したり、リンクリゾルバと連携させたりすることができ、文献入手をトータルにサポートします。

## 【国内雑誌の電子ジャーナル】 PierOnline

「臨床精神薬理」が追加されました



星和書店の「臨床精神薬理」が追加されました。1 論文単位で購入いただく PayPerView、あらかじめまとまった論文数を購入いただくプリペイド方式、もしくは年間購読が可能です。エンバルゴが無く発行日から閲覧できます。

## 【海外雑誌の電子ジャーナルパッケージ】 ProQuest

Future Medicine 35 タイトルを掲載



Health Research Premium Collection, Health and Medical Collection に、人気の高い FutureMedicine35 タイトルを掲載しています。BMJ 関連誌 53 タイトルも追加され、これまで以上に皆様の研究活動をサポートします。

## 【論文評価システム】 F1000 Prime

F1000Workspace（文献管理ツール）を提供



F1000Prime は生物学や医学の文献の中から、トップリサーチャーが必要な論文を推薦するウェブサービスです。必読の重要文献を効率的に探せます。F1000 Prime を契約すると文献管理ツール F1000Workspace もご利用いただけます。

## 【新しいリモート・アクセス・ソリューション】 RemoteXs

ユーザーをグループごとにアクセス管理



利用者をグループ分けして管理することができるので、営業所や研究所ごとにコンテンツ利用量の制限を設けたり、どのグループがどのくらい利用しているかを把握したりすることができます。ポータルサイトを通じて各リソースに接続するので、利用統計をまとめて取得することができます。

## 【その他取扱商品】





## 医療安全に向けた取組みをサポートするエルゼビア製品

矢ヶ部 史帆

エルゼビア・ジャパン株式会社

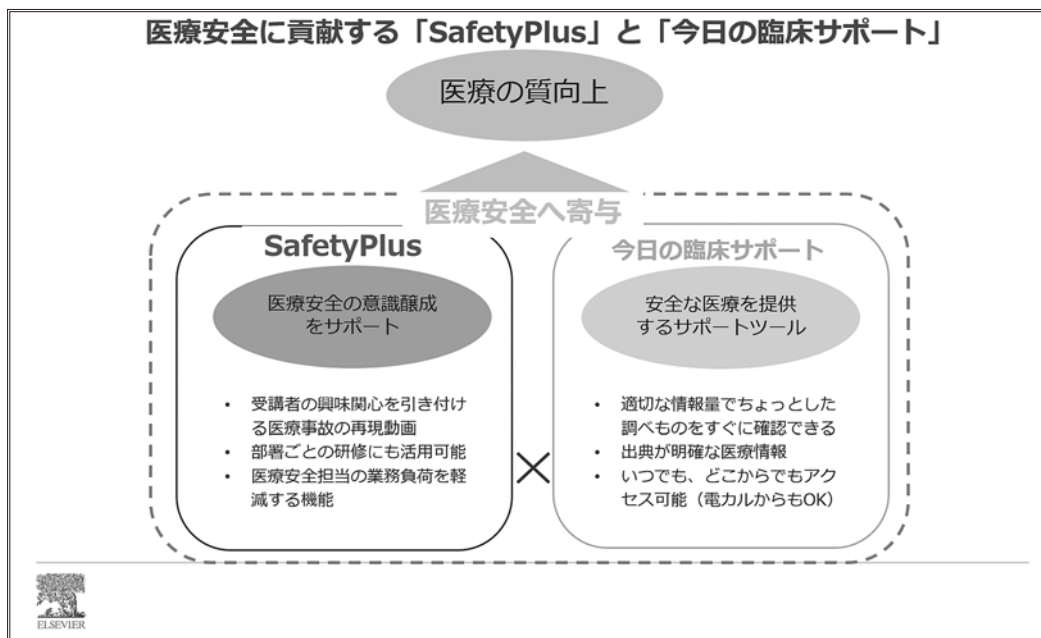
「医療事故は起こりうること」という認識のもと、チームや組織全体のあり方を改善しなければ事故は防止できないという意識の変化に伴い、医療安全対策のための教育が広く実施されています。これらの取り組みをサポートするエルゼビアの各種製品をご紹介します。

### ■ Safety Plus

本邦で発生した医療事故の事例を、動画で疑似体験し学べる医療安全研修e-ラーニングツール。パソコン・モバイル端末でいつでも学べて受講率アップ。医療安全管理者の業務負担を軽減する機能を多数搭載し、現場スタッフへの継続的な教育をサポートします。

### ■ 今日の臨床サポート

日本のエキスパート約1,350名によって執筆された、国内ガイドラインはじめエビデンスに基づいた日本語の診療情報。医師・看護師・事務の方などあらゆる医療従事者の業務をサポートすることにより、病院全体の医療の質の向上に貢献します。



### 【お問い合わせ先】

エルゼビア・ジャパン株式会社 ソリューション営業本部

TEL : 03-3589-6372 E-Mail : e\_info@elsevier.com

## 成果物のための図書館-Writing Solution !

剽窃チェック (iThenticate/Turnitin), 英語の構造的なレポート (論文) 作成支援ツール (Essay Jack), 英語論文等の多読とサマリー (Scholarcy), 学内コンテンツの外部利用 (RemoteXs/MyLOFT) のご紹介

笠間 和喜

iGroup Japan/ iJapan株式会社

iGroupJapan (iJapan株式会社) では、今回、“成果にコミットする”をテーマに、書く (成果物) ための様々なソリューションをご紹介させていただきます。

学生や研究者がレポートや論文を書くためには、図書館内外から図書館の購読物にアクセス (RemoteXs/MyLOFT) し、先人の研究成果を効率良く読み (Scholarcy), エビデンスに基づく形の構造的な文章を作成し (EssayJack), さらにコピーペーストなど不正がないかを確認した上で (Turnitin /iThenticate), 成果発表する必要があります。iGroup Japan (iJapan株式会社) では効率的な成果作成のための製品を紹介させていただきます。



お問い合わせ先：iGroup Japan/iJapan株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-5-16 アルテ大手町9F

Tel: 03-5577-4899 Fax: 03-5577-4809

Mail: info@igroupjapam.com Web: www.igroupjapan.com

# KinoDen (キノデン) のご案内

— 紀伊國屋書店の「本当に使われる電子図書館」サービス —

四本松 淳子

株式会社紀伊國屋書店 ICT営業本部 電子書籍営業部



「紀伊國屋書店学術電子図書館KinoDen (Kinokuniya Digital Library)」について、ご好評いただいている機能や、新規リリースしましたアプリを中心にご紹介いたします。

## 1. 画面の鮮明さ

医学系の書籍に欠かせない図版や写真も、ぼやけることなく鮮明に閲覧可能です。

また、PC・タブレット・スマートフォンといったデバイスの画面の大きさに合わせてサイトデザイン、操作アイコンを最適化。見開き／単ページ表示も自動判断します。

## 2. アプリ

従来のブラウザで電子書籍を読むスタイルに加え、2019年3月にアプリ（正式名称：bREADER Cloudアプリ）をリリースし、KinoDenのコンテンツをアプリにダウンロードして快適にご利用いただけるようになりました。

ご自分のモバイルデバイスに全文をダウンロードして、快適・軽快な環境でじっくり通読できます。法人契約のコンテンツでありながら、本棚・しおり・マーカー機能など、より個人的な利用が可能です。



\*\*その他、Annual Reviewsの新価格モデル等、弊社代理店の海外主要出版社の最新情報も揃えていますのでぜひブースにお立ち寄りください。\*\*



### 【お問い合わせ先】

株式会社紀伊國屋書店 ICT営業本部 電子書籍営業部

TEL: 03-5719-2501 FAX: 03-5436-6921 Email: ict\_ebook@kinokuniya.co.jp

# カーリル Unitrad API を使ってみよう！

－検索しないで必要な情報を探すには－

吉本 龍司  
株式会社カーリル



カーリルでは、2016年から図書館業務向けのUnitrad API（ユニトラッド・エーピーアイ）の提供を開始しました。従来の業務用横断検索システムと比べて、圧倒的に高速で、使いやすいインターフェースにより、図書館業務の大幅な効率化を実現します。

大量のアクセスにも必要なコンピューターリソースが自動配分され、速度が低下することはありません。システム更新は、共通インフラでカーリルによって管理され、図書館は何もする必要がないばかりか、これまでよりずっと迅速になります。

カーリルのもつノウハウをすべて詰め込み、業務で必須となる要素も実装されたAPIの最新状況をご紹介します。

カーリルでは、「検索でたどり着ける世界」の拡張に取り組んでいます。

ぜひ、カーリルのブースへお越しください！

## 医学関連電子コンテンツのご紹介

白石 まりあ

丸善雄松堂株式会社 外国雑誌・eリソースセンター



### 【機関向け電子書籍サービスの決定版！】

- 「Maruzen eBook Library」は学術分野の専門書や教養書、学術雑誌を取り揃えた国内最大級の電子書籍サイトです。約60,000タイトルの医学・看護・リハビリ・薬剤師・栄養・人文・理工関係書籍を幅広く搭載し、導入機関様も急速に拡大しています。動画コンテンツや読み上げ機能も好評です！スマホ対応もスタートし学生にとってますます便利になりました。

### 【最先端医療分野のコアタイトル多数！】

Mary Ann Liebert, Inc. publishers

- 2019年より弊社国内総代理店となりましたMary Ann Liebert, Inc. は、バイオテクノロジー、再生医療、バイオメディカル・リサーチ、医学ならびにその他専門分野等、最先端分野の査読誌、書籍、業界誌を出版する独立系出版社で、2019年現在90誌以上発行しております。国内でニーズの高い再生医療等の先端医療に関するJournalに定評があり、また日本を含む学会の公式機関誌も多数発行しております。

ただいま無料トライアルも実施しておりますので、興味のある方はぜひブースにお立ち寄りください。

### 【解剖学、生理学での実習に最適！】



- Visible Body on Ovidはヒト全身の解剖学、生理学を網羅するオンラインソリューションです。3D人体模型だけでなく、最新版ではVRにも対応し、簡単な操作で人体の調査・検証を行えます。スポーツ科学やリハビリ、生体医工学など様々なシーンで活用可能です。その他各種オンラインコンテンツをご紹介します。

### 【医学系英語力UPに最適！海外医学書・USMLE対策本の電子版！】



- AccessMedicine: Harrison等の定番医学書電子版130点以上の他、症例・Q&Aなどの各種情報を搭載しています。
- USMLEeasy: 米国医師国家試験対策を完全網羅した理想的な学習ツールです。ユーザー個別のカスタマイズ・進捗管理も可能です。

### 【内科学でのコアコンテンツ！】

Annals of Internal Medicine  
ESTABLISHED IN 1927 BY THE AMERICAN COLLEGE OF PHYSICIANS

- ACP (American College of Physicians) の発行する『Annals of Internal Medicine』は高インパクトファクターを誇る内科学のコアコンテンツです。広く医学系図書館での必須タイトルとなっています。

### 【小児科系コアタイトルを拡充！】

American Academy of Pediatrics  
DEDICATED TO THE HEALTH OF ALL CHILDREN™

- AAP (American Academy of Pediatrics) の発行する『Pediatrics』はすでに多くの図書館でご購読いただいています。『AAP eJournal collection』にアップグレードすることで、関連する小児科タイトル計6誌に少額の費用でアクセスが可能になります。

【お問い合わせ先】 丸善雄松堂株式会社 外国雑誌・eリソースセンター  
Tel:03-6367-6114 FAX:03-6367-6160 E-mail:e-support@maruzen.co.jp

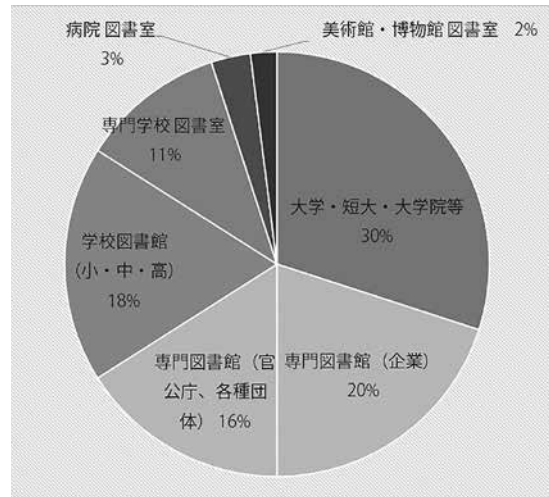
## 図書管理システム「情報館」のご紹介

前田 貴代  
株式会社ブレインテック

「情報館」は、今年で発表から30年を迎える、中小規模図書館向け図書管理システムです。これまで累計の導入実績は1,000館以上、北は北海道から南は沖縄まで現在約800館の図書館でご利用いただいています。館種別に見ると、大学図書館が約1/3、企業・研究所などの専門図書館が約1/3、残りが学校図書館および専門学校図書室などとなっています。大学・専門学校では、看護・福祉・医療系学部学科を擁する学校が多く、割合を占めているのも特徴です。

2019年4月には新バージョン「情報館 ver.9」をリリースいたしました。

業務システムではNACSIS-CATダウンロードデータに加え、国立国会図書館が2018年1月より提供を開始した「NDL-Bib」からのダウンロードデータ（JAPAN/MARC MARC21フォーマット）の取込にも対応しています。また、図書館スタッフの日常業務を助ける「業務日誌」「スタッフ伝言」「業務通知」などの機能も新たに加わり、さらに便利になりました。



情報館ユーザーの館種内訳



スマホ表示

PC表示

OPACでは、図書館からの情報発信ツールとしても使える「ブックリスト」などの便利な機能に加え、ウェブアクセシビリティ対応、レスポンスデザイン（スマホ/タブレット/PC表示切替）など公共性のあるウェブサイトが備えるべきとされる要件を十分に満たしています。OPACのご利用

にあたっては、環境に合わせてサーバー設置型（オンプレミス）とクラウド型を選ぶことができます。

小規模図書館向けには、「情報館」が月額1万円から使える、バージョンアップ・サポート料・OPACまでコミコミの「バリュープラン（使用料お支払い型）」が好評です。

お問い合わせはこちらまで ※デモンストレーション、トライアルは無料です



株式会社ブレインテック 営業グループ  
sales@braintech.co.jp

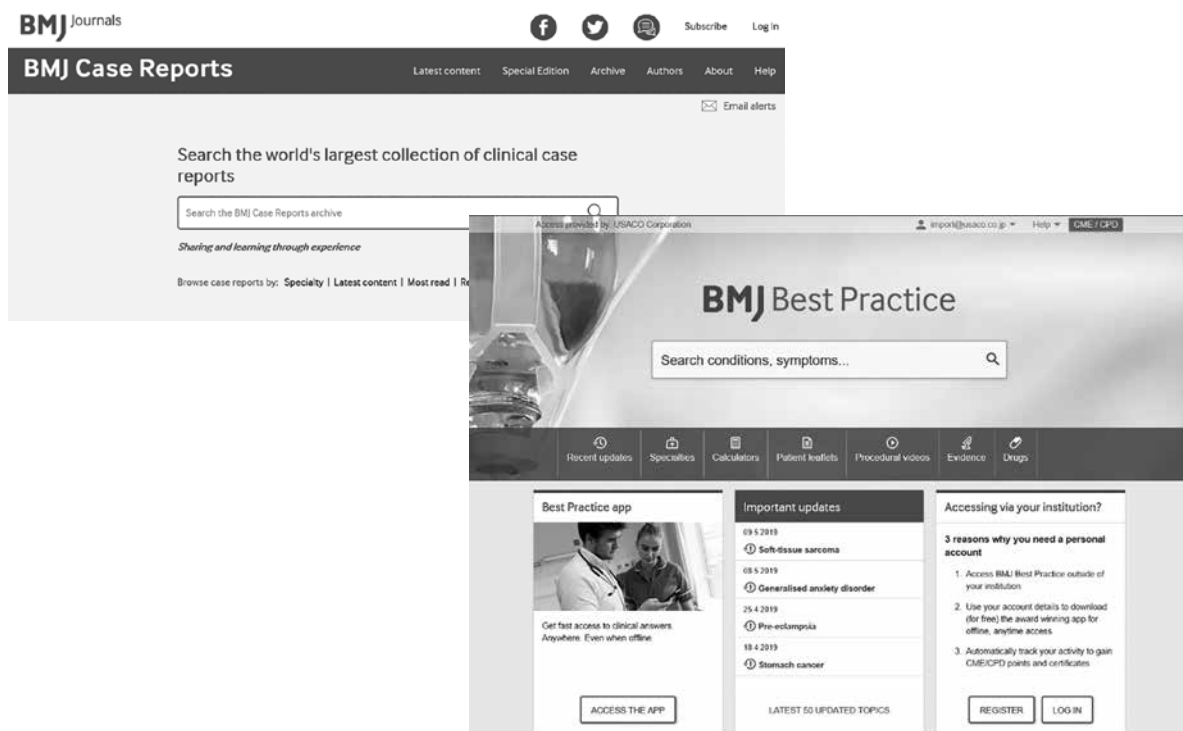
## BMJ Case Reports, BMJ Best Practice

井上 卓  
ユサコ株式会社

BMJ Groupが提供するBMJ Case ReportsとBMJ Best Practiceをご紹介します。

BMJ Case Reportsは、希少疾患を含め幅広い分野をカバーした世界最大の症例報告コレクションです。2019年4月現在、症例報告を16,000件以上収録しています。購読機関では、症例の閲覧だけでなく、投稿も無制限に可能です。BMJ Groupが提供するテンプレート、シンプルなシステムを使用して、症例報告を投稿できます。投稿した症例報告はピアレビューされます。世界の臨床医、研究者にとって、症例報告の閲覧と発表の場となっています。

BMJ Best Practiceは、エビデンスに基づいた信頼性の高い情報を提供する臨床意思決定支援ツールです。利用者は、症状に応じて行うべき検査や治療法など、臨床の場で必要となる情報を素早く参照することができます。辞書のように文章が羅列されているのではなく、ユーザーが必要とする情報に、簡単にアクセスできるようにデザインされています。世界の専門家1,600名が執筆を行い、29か国の専門家2,500名が査読を行っています。情報は随時最新情報に更新されています。関連ガイドラインへのリンク、患者パネルがレビューを行った患者向けリーフレットも利用可能です。オフラインで利用できるアプリを使用すれば、いつでもどこでも情報にアクセスできます。



## 海外出版社による医学・薬学関連電子製品のご紹介

原 隆次

株式会社 南江堂 洋書部

### ■ Hale's Medications & Mothers' Milk Online



授乳期に使用する薬剤に関して、医師や薬剤師にとって欠かせないレファレンス“Hale's Medications & Mothers' Milk”。施設契約でご利用いただけるオンライン版をご紹介します。オンライン版の掲載内容は毎月更新され、常に最新の情報を得ることができます。

### ■ MedicinesComplete



MedicinesComplete とは Pharmaceutical Press が発行し、世界中の医薬図書館で利用される医薬品情報データベースです。“Martindale - Complete Drug Reference” などを含む、65万ページ分に及ぶ広範なリソースを収載します。ご契約は1タイトルから可能で、お得なパッケージもご提案しております。

### ■ NEJM Knowledge+



NEJM Knowledge+ は、NEJMグループによって開発された、臨床研修教育における自主学習プログラムです。世界中で500以上の臨床研修病院で導入され、毎年5,000人以上の研修医に利用されています。

### ■ JBJS Clinical Classroom



JBJS Clinical Classroom は、上記NEJM Knowledge+のプラットフォームを用いて、JBJSがコンテンツを編集した整形外科領域のeラーニング製品です。NEJM Knowledge+同様、臨床教育の現場においてご活用いただけます。

#### 【お問い合わせ先】

南江堂 洋書部 (担当：原)

〒113-8410 東京都文京区本郷3-42-6

Tel: 03-3811-9952 Fax: 03-3811-7123

Email: journal@nankodo.co.jp



## 医療系データベース・サービスのご紹介

EBSCO Information Services Japan 株式会社

医療系；臨床サポートツール；リンクリゾルバー；文献検索；eBook

# DynaMed®

■New ■ 臨床ツールDynaMed Plusが、この夏「DynaMed」にリニューアルされます。

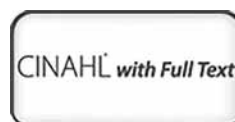
- 1) 全診療科のコンテンツを収録
- 2) 500誌以上のジャーナルや国内外のガイドラインの結論部分を要約して掲載。  
その各エビデンスに対して、編集チームが批判的吟味を加えています。
- 3) リモートアクセス設定や各種モバイル端末での利用（アプリ）も、無料です。



## Full Text Finder

- 1) ナレッジベース管理ツール（Holdings Management）
- 2) リゾルバー機能
- 3) 電子リソースの検索/リスティングツール（Publication Finder）

の機能を備えたEBSCOのリンクリゾルバーです。電子リソースの利用推進にぜひご検討ください。



■ 医学・看護学等の学術文献データベース

雑誌論文・記事の全文をご覧いただける全文データベースと、文献情報をご覧いただける二次情報データベースを、医学・看護学・歯学、その他分野、多数取り揃えております。

# EBSCO eBooks

■ EBSCO eBooks（医療・看護系）

海外の主要な出版社および大学出版局が提供する電子書籍をEBSCOhostのインターフェイス上で検索/閲覧/ダウンロードできます。ご希望の予算、分野に合わせたパッケージも提供可能です。

お問合せ 電話：03-5342-0701

Email：jp-medical@ebSCO.com

## 新しくなったコクラン・ライブラリー

岩崎 治郎

ワイリー・ジャパン株式会社

The Cochrane Library（コクラン・ライブラリー）は、科学的根拠（エビデンス）に基づく医療情報を提供するオンライン情報源です。その中核をなすコクランレビューは、最高水準のシステムティック・レビューとして信頼され、世界各国で広く利用されています。

コクラン・ライブラリーは、2018年8月に大幅なリニューアルが実施され、インターフェースや収録コンテンツ、機能といった面でさまざまな変更がありました。今回のプロダクトレビューでは、主要な変更点や新機能にスポットを当て、どのように利便性が高まったかをご紹介します。

取り上げる変更点・新機能は以下の通りです。 ① 収録コンテンツの一部を入れ替え ② タブ表示になったインターフェース ③ ファセットナビゲーションの採用 ④ 見つけやすくなった日本語抄録 ⑤ コンテンツ間のリンクを強化



WILEY

## 教育・研究・臨床実践を支える最新リソース

Wolters Kluwer (Ovid Technologies)

医療系：文献検索：解剖学：生理学：臨床支援ツール：AI

Ovid®は、教育から研究、臨床実践にいたるまで、ヘルスケアのあらゆる現場に携わる皆様に、信頼のおける最新の医療情報とオンライン・ソリューションをご提案いたします。



### より正確な鑑別診断を支援する臨床サポートツール

VisualDx®は、使いやすい鑑別診断ビルダー、独自のイラスト表記Sympticon™を駆使して、より正確かつ情報に基づいた意思決定へと導きます。iOS端末では、皮膚疾患画像を解析する最新の機械学習機能、DermExpertも利用可能。米国ではすでに1,700以上の医療機関および半数以上のメディカル・スクールで利用されています。



詳細はこちら  
<http://l.lead.me/VDx-jp>



### 拡張現実 (AR) 搭載の3D解剖学・生理学コンテンツ 教育の現場で

- 解剖生理学の補助教材、解剖実習支援
- 自学自習やふり返り
- 教育資料や試験問題作成 など

### 臨床の現場で

- 患者用説明資料や病院内での情報共有
- 学会や研修・講習会の資料
- 手術や治療部位のイメージトレーニング など



詳細はこちら  
<http://l.lead.me/VB-jp>

## Ovid® Discovery

### 図書室で利用可能なあらゆる情報を

### ひとつのインターフェースに統合した理想的なポータルサイト

- 単一の検索ポイントで誰でも簡単に検索可能
- パソコン、タブレット、スマートフォンで利用可能
- 利用者の検索傾向やコンテンツの利用状況をよりの確に把握



詳細はこちら  
<http://l.lead.me/ODS-jp>



【お問い合わせ】 ウォルターズ・クルワー

TEL: 03-5427-1950 | Email: [Ovid-Japan@wolterskluwer.com](mailto:Ovid-Japan@wolterskluwer.com)

# 図書館情報システム NALIS

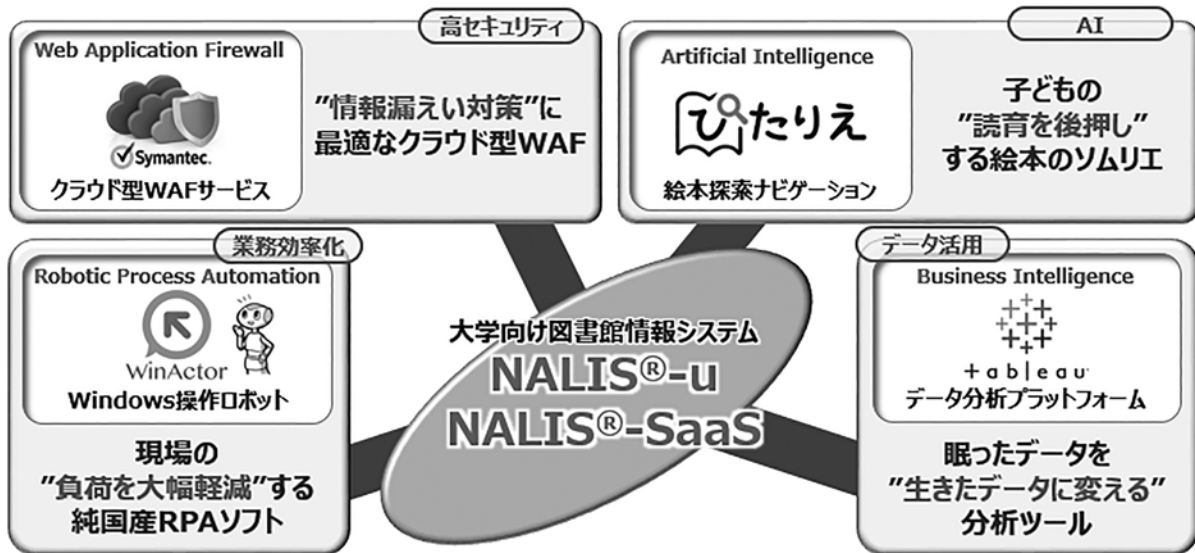
～クラウド型サービス，先進の周辺ソリューションを提供～

株式会社 NTT データ九州

図書館情報システム NALIS は、『堅牢なデータセンタ』、『安全なネットワーク』、『高度なセキュリティ』を柱としたクラウド型サービスを提供します。



また，先進の周辺ソリューションにより，図書館に新たな付加価値をご提供します。



**NTT Data**  
Trusted Global Innovator

【お問い合わせ先】株式会社 NTT データ九州  
 社会基盤事業部 ソフトウェアビジネス統括部  
 電話 : 092-475-5145  
 Email : nalis@nttdata-kyushu.co.jp

# 「傾斜スライド棚」の紹介

=地震発生時の書架からの図書・書類の落下軽減策=

金剛株式会社 福岡支店

地震対策；落下軽減；書架；保管機器

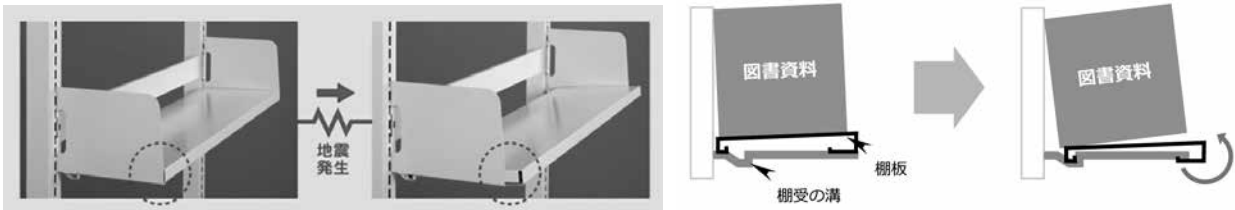
## ■地震発生と業務への影響リスク



※上) 地震発生時のイメージです。

国内では地震発生の可能性は多くの地域・場所に存在します。様々な施設において、地震発生後の施設機能の復旧～通常業務への復帰（BCP）は重要課題と考えます。

## ■「傾斜スライド棚」でBCP



通常は水平に近い角度で設置する棚板が、地震の揺れを利用し自然と手前方向にズレ動くことで棚板設定角度に仰角が付き、配架の図書・書類は落下しづらい状態となります。

(およそ震度5程度で作動します。作動後は配架状態でも人の手で復帰作業容易です。)

「傾斜スライド棚」は配架物の落下軽減により、皆様の通常業務への復帰に貢献します。

※ご注意／全ての地震・震度にあって落下を防止するわけではありません。

=====

(お問い合わせ先) 金剛株式会社 福岡支店  
TEL (092) 681-6286 FAX (092) 681-3031

## 参加企業連絡先（50音順）

---

iJapan株式会社/iGroup Japan 営業部  
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-5-16アルテ大手町9F  
TEL:03-5577-4899 FAX:03-5577-4809  
info@igroupjapan.com

---

株式会社医学書院 販売・PR部 販売2課  
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23  
TEL:03-3817-5652 FAX:03-3815-7804  
y-ootani@igaku-shoin.co.jp

---

NPO 医学中央雑誌刊行会 データベース事業部  
〒168-0072 東京都杉並区高井戸東2-5-18  
TEL:03-3334-7625 FAX:03-3335-3327  
info@jamas.or.jp

---

株式会社ウォルターズ・クルワー・ヘルス・ジャパン HLRP  
〒108-0073 東京都港区三田1-3-31 フォーキャスト三田5F  
TEL:03-5427-1950 FAX:03-3451-2011  
Ovid-Japan@wolterskluwer.com

---

株式会社NTT データ九州 社会基盤事業部 ソフトウェアビジネス部  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTTDATA 博多駅前ビル  
TEL:092-475-5145 FAX:092-475-5152  
nalis@nttdata-kyushu.co.jp

---

EBSCO Information Services Japan 株式会社 ヘルスサイエンス系データベース部門  
〒164-0001 東京都中野区中野2-19-2 中野第IOSビル3階  
TEL:03-5342-0701 FAX:03-5342-0703  
jp-medical@ebSCO.com

---

エルゼビア・ジャパン株式会社 ソリューション営業本部  
〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル  
TEL:03-3589-6372 FAX:03-3589-6364  
e\_info@elsevier.com

---

株式会社カーリル  
〒509-9232 岐阜県中津川市坂下1645-15  
TEL:0573-67-8105  
massae@calil.jp

---

株式会社紀伊國屋書店 雑誌営業部  
〒153-8504 東京都目黒区下目黒3-7-10  
TEL:03-6910-0532 FAX:03-6420-1363  
journal@kinokuniya.co.jp

---

---

金剛株式会社 福岡支店  
〒 813-0043 福岡市東区名島 3-2-10  
TEL:092-681-6286 FAX:092-681-3031  
tkozaki@kongomail.com

---

株式会社サンメディア e-port 事業部  
〒 164-0012 東京都中野区本町 3-10-3  
TEL:03-3299-1575 FAX:03-3374-1410  
e-port@sunmedia.co.jp

---

シュプリンガー・ネイチャー  
インスティテューショナル・セールス コーポレート&ヘルス・チーム  
〒 105-6005 東京都港区虎ノ門 4-3-1 城山トラストタワー 5F  
TEL:03-4533-8093(代) FAX:03-4533-8081  
support@springer.jp

---

株式会社南江堂 洋書部仕入課  
〒 113-8410 東京都文京区本郷 3-42-6  
TEL:03-3811-9952 FAX:03-3811-7123  
journal@nankodo.co.jp

---

株式会社ブレインテック 営業グループ  
〒 141-0022 東京都品川区東五反田 1-7-6 藤和東五反田ビル 3F  
TEL:03-3449-7261 FAX:03-3449-7381  
sales@braintech.co.jp

---

丸善雄松堂株式会社 外国雑誌・eリソースセンター  
〒 105-0022 東京都港区海岸 1-9-18  
TEL:03-6167-6114 FAX:03-6367-6160  
e-support@maruzen.co.jp

---

株式会社メテオ 営業部  
〒 101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-7-3VORT ビル 2階  
TEL:03-5577-5877 FAX: 03-5577-5878  
info@medicalonline.jp

---

ユサコ株式会社 プロダクト部  
〒 106-0044 東京都港区東麻布 2-17-12  
TEL:03-3505-3257 FAX:03-3505-6284  
product@usaco.co.jp

---

ワイリー・ジャパン株式会社 マーケティング  
〒 112-0002 東京都文京区小石川 1-28-1 小石川桜ビル 4F  
TEL:03-3830-1274 FAX:03-5689-7276  
jiwasaki@wiley.com

---

# Learning from each other!

医学情報サービス研究大会をより充実させるために

## 1. “Learning from each other!” に込められた思いとは

生命科学系の情報専門家として仕事をしていくためには、必要な知識とスキルを学びあうだけでなく、大きく変化する社会状況のなかで、専門職としての役割を再定義していく努力が求められる。医学情報サービス研究大会は、その努力の成果を試すひとつの場といえる。なぜなら医学情報サービス研究大会の特徴は、年齢、所属機関、性、地域、肩書きなどの違いをこえ、学びあうことに熱意を持ち、率直に交流し、問題解決の方法を求め、そして職業人としての向上を目指す人々が集う点にあるからである。つまり、医学情報サービス研究大会が掲げる“Learning from each other!”には、「参加者の所属機関・肩書きを意識しない」、「学びあう」、「自覚的に参加する」という思いが込められている。

医学情報サービス研究大会には、毎回参加する人、久しぶりに参加する人、初めて参加する人、発表する人、発表を聞きたい人等、様々な人がいるが、“Learning from each other!”に込められた思いを理解していただければ、たとえひとりで参加したとしても、医学情報サービス研究大会で有意義で心地よい時間を共有することができる。

## 2. 参加の目的

医学情報サービス研究大会とは、その名の通り、研究発表の場である。したがって医学情報サービス研究大会に参加する目的は、研究発表をすることであり、研究発表を聞くこととなる。

この参加目的を達成させ、より充実感を味わうために、発表者、聴衆、モデレーターに以下のことを提案したい。

## 3. 発表者

発表は自分の研究成果を問う場所である。ひとりでも多くの聴衆に自分の研究を理解してもらえよう、発表の仕方を工夫しよう。

### 3.1. 発表に際して

#### (1) 発表の内容

- ・既発表の内容でも許容できるが、大会参加者に興味ある視点から発表しよう。
- ・持論を展開するだけでなく、データや文献等で裏付けを得て、より客観的な分析・考察をしよう。
- ・宣伝的な内容に終始しないようにしよう。

#### (2) 発表の形式

- ・医学情報サービス研究大会の発表では、“口頭発表”と“ポスター発表”が設けられることが多い。それぞれにメリットがあり、向いている形式を選択する。



### 3.2. 口頭発表

(1) 研究の目的と結論を明確にしよう。

- ・研究の目的と結論を分かりやすく伝えるために、発表を組み立てよう。

(2) 研究の目的と結論に沿った説明をしよう。

- ・発表では、調べたことのすべてを説明する必要はない。研究目的と結論を理解してもらうため、必要なことのみを端的に説明しよう。
- ・問題の背景や先行研究を丁寧に説明すると、どうしても長くなりがちである。時間配分を考えて、勇気をもって割愛することも大切である。

(3) 発表時間を守ろう。

- ・発表時間は必ず発表要領で確認して、時間内に収まるように構成しよう。
- ・ベルが1回鳴ったら：まとめに入る。
- ・ベルが2回鳴ったら：いったん終了して、モデレーターの指示に従う。
- ・発表終了後に質疑応答。

#### <口頭発表のコツ>

##### 準備

- ・発表要領で、用意されるパソコン環境とインターネットの有無を確認しておこう。
- ・スライドは、シンプルな画面構成を心がけよう。目的から結論に至るまで、分かりやすい文脈を考えよう。
- ・アニメーションはなくてもよい。使う場合は発表で効果的になるようにしよう。
- ・リハーサルをして、スライドを見て条件反射で説明ができるようになるろう。声を出すことも大事。同僚・家族などに聞いてもらおう。

##### 発表

- ・緊張・不安は誰にでもある。少なくとも医学情報サービス研究大会では、怖れる必要はない。
- ・原稿を用意して、読み上げても構わない。
- ・発表姿勢がよいと、発表の印象もよくなる。
- ・時間内に2、3回会場を見渡して、聴衆の反応に目をやるとよい。

##### 質疑応答

- ・質問にはシンプルに答えよう。分からないことを無理に答える必要はない。
- ・学術研究の世界では、クリティカル・シンキング（批判的思考）が一般的である。そのため、発表に対して批判的な質問をされることもある。それはあなた個人を批判しているのではないので、質問に対し真摯に回答しよう。
- ・質問を怖れない。感謝する気持ちで答えよう。

##### 発表をより充実させるため

- ・発表内容を論文にしてみよう。
- ・発表は経験こそが上達の極意。ぜひ継続しよう。

### 3.3. ポスター発表

(1) ポスターで、発表内容を自由に表現しよう。

- ・発表で伝えたい、研究の目的と結論を明確にしよう。
- ・口頭発表と同様に、すべてのことは伝えられない。研究の目的と結論を分かりやすく伝えるため、内容とデザインを検討しよう。

(2) 決められた大きさを守ろう。

- ・所定のパネル内に収まるように工夫しよう。

(3) 説明を明解・明確にしよう。

- ・文字を減らしてできるだけ図示して、短時間で理解してもらえる工夫をしよう。
- ・ポスターは“ぱっと見”の印象が大切。参加者に足をとめていただき、読んでもらえる構成を心がけよう。

#### <ポスター発表のコツ>

##### 準備

- ・大判印刷ポスターでも、コピー用紙を複数枚貼る構成でも、どちらでも構わない。
- ・事前に完成させたポスターを持ち込むため、万が一に備えてバックアップを考えよう。(USBでデータを持参、Web mail にファイルを投稿等) 修正液・サインペン・色鉛筆等があると、軽微な修正ができる
- ・発表に必要なパネルや画鋏は、実行委員会が用意する。指定された場所・時間内に、所定の場所に掲出しよう。

##### 発表

- ・“ポスター発表ダイジェスト”という、口頭発表の時間が設けられることがある。
- ・限られた短い時間では、すべてを説明することはできない。ポスターを見に来てもらう呼びかけに徹しよう。

##### 質疑応答

- ・“発表者待機時間”が設定されていれば、決められた時間にポスター前に立とう。
- ・口頭発表と異なり、一対一で納得のいくまで話し合える利点がある。
- ・興味のある方だけが質疑応答に来るので、気負わず挨拶や声かけをしよう。できれば名刺交換も。質問を怖れず感謝する気持ちで、ポスターを見ながら納得いくまで議論しよう。
- ・同じ質問が繰り返される場合、根本的な問題か、単なる説明不足かもしれない。分からないことは、逆に質問してみよう。教わることは恥ずかしいことではない。

##### 発表をより充実させるため

- ・発表内容を論文にしてみよう。
- ・ポスターで言いたかったことを、文章にして説明しよう。

## 4. 聴衆

質問は、発表に対する理解を深めるために行います。発表者、そして自分以外の聴衆にも分かりやすい質問を心がけよう。

- (1) まずは名乗ろう。
  - ・挙手して、モデレーターから指名されたら、所属先と氏名を名乗ろう。
- (2) 質問は明確にしよう。
  - ・質問かコメントかを最初に述べて、1回にひとつだけにしよう。
  - ・質問の前に持論を展開することはせず、聞きたいことを明確に述べよう。
  - ・モデレーターの指示に従って質問しよう。
- (3) 興味を持ったら、質疑応答の時間以外にも、発表者に質問してみよう。
  - ・休憩時間や懇親会なども、質問のチャンスとして活かそう。

## 5. モデレーター・タイムキーパー

モデレーターが発表者・質問者の発言を指揮することにより、発表のクオリティも変わる。発表者・質問者が独断に走らないよう、上手にコントロールしよう。

- (1) セッションを把握しよう。
  - ・大会抄録でセッションのテーマ、発表者名のヨミと所属、演題内容を確認しよう。
  - ・セッション発表者が緊張しているか、問題を抱えているか、事前の打ち合わせを通して把握しておこう。
- (2) 発表の時間を守ろう。
  - ・セッションに設定された時間を把握しよう。
  - ・タイムキーパーは、規定された時間どおりにベルを鳴らそう。ただし、規定時間内に発表が終了した場合は鳴らさない。
  - ・時間内に終わらない場合は、モデレーターが一度制止して、対応を指示しよう。
  - ・すぐ終わりそうなら、多少の延長を認める。
  - ・終わりそうにないなら、いったん止めてもらい、継続・終了を指示する。
- (3) 質問の交通整理をしよう。
  - ・質問、回答はモデレーターの指示のもとで行うようにしよう。
  - ・聴衆を無視しない（発表者と質問者で勝手に盛り上がらない）ようにしよう。
  - ・質問者の発言が長い場合や内容の要領を得ない場合は、質問者に注意しよう。
  - ・質問や回答が脱線しないよう制御して、分かりにくい場合は要約しよう。
- (4) 質疑応答を活発にしよう。
  - ・質問が出なかった場合、可能であれば、モデレーターから質問しよう。

## 6. 参考文献

- ・黒木登志夫. 知的文章とプレゼンテーション (中公新書 2109). 東京：中央公論新社；2011.
- ・堀口安彦. 発表が楽しくなる！ 研究者の劇的プレゼン術：見てくださいスライド論&よってらっしゃいポスター論と聴衆の心をつかむ講演技術. 東京：羊土社；2013.
- ・渡部欣忍. あなたのプレゼン誰も聞いてませんよ！：シンプルに伝える魔法のテクニック. 東京：南江堂；2014.
- ・今泉美佳. ポスター発表はチャンスの宝庫！：一歩進んだ発表のための計画・準備から当日の

- プレゼンまで. 東京：羊土社；2003.
- ・宮野公樹. 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術：ポスター発表を成功に導くプレゼン手法. 東京：化学同人；2011.
  - ・Thomas A. Lang. 宮崎貴久子；中山健夫訳. トム・ラングの医学論文「執筆・出版・発表」実践ガイド. 東京：シナジー；2012.
  - ・MIS31 名古屋大会実行委員会「“QOL” for MIS31 ～学びの質を高めるために～」[internet]. [http://mis.umin.jp/31/pdf/MIS31\\_QOL\\_20140224.pdf](http://mis.umin.jp/31/pdf/MIS31_QOL_20140224.pdf), <http://www.slideshare.net/satomikojima750/mis31-qol-20140224-34934408> [accessed 2019-06-06]

2019年6月  
医学情報サービス研究会幹事会

## 実行委員紹介

### 大会実行委員長・企業担当：首東 誠（福井大学附属図書館[総合図書館・医学図書館]）

医学図書館に異動となるもあまりの門外漢さに情報収集せねばと、MIS34に初めて参加したあの日がなければ、令和元年・福岡初開催のMIS36は存在しなかったであろうことを思うとき、御縁というものを強く感じずにはおれません。

皆さんにも、本大会でぜひ多くの御縁を結んでいただくとともに、開催地の福岡を存分に味わっていただければ大変嬉しく思います。

★「川端ぜんざい広場」で供される甘味です

### 大会事務局長・会計担当：福島 真紀（福岡大学図書館）

何度も参加させていただいておりましたが、初めて実行委員となり、また間もなく中央図書館へ異動となったことで、この大会の持つ魅力や参加者のみなさんの意識の高さを改めて実感できております。初開催となる福岡で、皆様が知的な刺激と福岡の街を満喫していただければ幸いです。

★「びっくり亭の焼肉」秘密のケンミンショーで紹介されました

### 大会副事務局長・参加者担当：野口 秀実（福岡大学図書館医学部分館）

MISには第29回の築地大会からの参加になります。その後何度かの参加を通して多くの方と知り合うことができたり、退職してもう会えないだろうなと思った人と再会できたり、MISには大変感謝しています。今回は、参加された皆さんに「知り合ったとは、バリ暑かったMIS36福岡やったとよ！（博多弁、苦笑）」と一人でも多くの方に言われるような大会にしたいと思っています。

★「ヤフオクドーム」および隣接する「MARK IS 福岡もち」

### Webサイト担当：後藤 可奈子（久留米大学医学図書館）

記念すべき福岡初開催の研究大会にもかかわらず、福岡在住2年目、しかも医学図書館勤務1年目の私が実行委員を引き受けてしまい、お役に立てるだろうかと当初は不安でいっぱいでした。まさかこんなところで図書館Webサイト担当の経験が活かせるとは…。MISのサイト運営では学ぶことが多い、貴重な経験をさせていただきました。当日は参加者の皆さんと一緒に楽しみたいと思います！

★「マリンワールド海の中道」関東では珍しい“スナメリ”が見られる水族館です

### SNS担当：末松 久美（福岡大学図書館）

各所属の精鋭さんたちが熱い思いで集ってそれぞれの能力を発揮しつつMIS36の準備を推し進めていく様子はさながら映画の「オーシャンズ8」のようでした。（本当は必殺仕事人と言いたい）

ご参加いただいたみなさんが福岡まで来て

よかった！と思えるような楽しく学びあえる大会になりますように。

★太宰府にある「甘木屋」の梅が枝餅

★は、実行委員の“福岡”のおススメ



### 抄録・発表担当：阿部 佐和子（福岡大学図書館医学部分館）

お盆時期にもかかわらず、はるばる福岡まで来ていただいた参加者の皆様本当にありがとうございます！準備途中、実行委員長も事務局長も医学図書館から異動になるというハプニングもありましたが、きっと無事本日の開催を迎えていることと信じて残りの日々をがんばります。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

★「酢もつ」, 「カリカリの鳥皮」, 「肉ごぼううどん」

### 抄録・発表担当：水江 愛子（福岡大学図書館医学部分館）

初の福岡大会にご参加いただき誠にありがとうございます。口演・ポスター・企画等でご発表いただいた皆さま、ご出展いただいた企業さまも本当にありがとうございました。多くの方のご協力のもとMISが成り立っていることを知り、ますますMISが大好きになりました。福岡開催は夢のまた夢と思っていましたが、開催を決めてくださった実行委員長、事務局長にも心からお礼申し上げます。

★「<sup>はこざきぐう</sup>筥崎宮」会場近くにある大きな神社、開運勝利の神様です

### ロゴ・グッズ担当：平山 紀子（久留米大学医学図書館）

実行委員長の首東さんに声をかけていただいたのがご縁となりました。医学図書館に転職して1年目のコア研修でMISを知り、昨年は次期開催の視察を兼ねMIS35に初参加。大会の趣旨と雰囲気感動しましたが、自分に何ができるのか途方にくれました。大会ロゴ作成が難航していた時、娘の同級生に適任な方が思い浮かび、そこからが本格的な活動参加になりました。ご縁に感謝です。

★グッズ作成会議の定番の場所、柳橋連合市場内の立ち飲み屋「<sup>ツンノード</sup>Tsunnode」です！

### グッズ担当：別府 さおり（福岡徳洲会病院図書室）

昨年MさんがMIS36の実行委員をしませんか？と声を掛けて下さり、今回貴重な経験をさせて頂きました。実行委員経験者がおらず戸惑うことも多かったです、「初心者もベテランも！参加者も企業さんもスタッフも！」皆が楽しめる会にしよう、をモットーに準備してきました。毎月おやつを持ち寄ってのミーティングがMIS開催とともに終わってしまうのは寂しいですが、素晴らしいスタッフと皆さんとで本番を楽しみたいと思います！

★「牧のうどん」の肉うどん。太くて柔らかい麺が出汁を吸って増え続ける“魔法のうどん”です（笑）

### 会場担当：江藤 弘史（九州大学附属図書館医学図書館）

図書館での勤務も少し長くなりましたが、医学系の図書館での勤務は初めてで、MISにもこれまで参加させていただいたことがありませんでした。今回初めての福岡での大会開催に、ご縁がありまして初心者の私がお手伝いをさせていただくことになりました。

大会を通していろいろと勉強させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

★「<sup>むなかたたいしゃ</sup>宗像大社」2017年に世界遺産に登録されました

## ロゴマークについて



MIS36の会場の九州大学医学部キャンパスの地名は馬出。読みは「まいだし」。この難読地名から連想した大会ロゴを作成したのは、九州大学芸術工学部在学中の戸嶋野乃香さん。

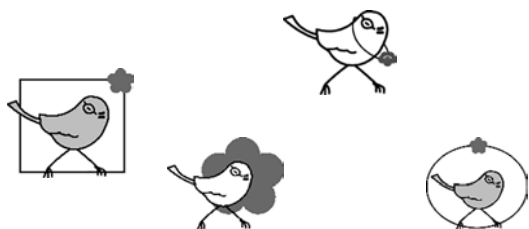
井につかる豚（マコトくん）で、MY出汁＝まいだし。MIS36のシンボルとなるロゴマークの作成にあたり、実行委員の希望はとにかく福岡らしいもの！！漠然としたイメージを具体化するため、戸嶋さんは周囲の方にアンケートを実施し、豚骨ラーメンとか屋台の声が多かったことをヒントに、豚骨ラーメンの連想からのMY出汁＝まいだしの井と屋台の2バージョンを作成してくれました。

2018年8月、大会ロゴの誕生でMIS36に向けて実行委員の意気も高まりました。

マコトくんの頭に載っているウグイス（ミス・ナイチンゲール）は福岡の県鳥。あまりのかわいさに単独のキャラクターとしても描いていただくをお願いしました。ミス・ナイチンゲールのネックレスの梅の花は、福岡の観光名所の太宰府天満宮の境内に咲く飛梅をイメージしたものかどうか（実は福岡の県花も梅）。令和の新元号が発表される前にすでに出来上がっていたのですが、とてもタイムリーなデザインとなり、令和初開催の気分が盛り上がりました。

今回、私の娘の友達というご縁で、MIS36の大会ロゴ、ポスター、グッズ図案、抄録表紙とデザインを総合的に作成していただきました。度重なるデザイン案のお願いや細かい修正の相談にも勉強になるといつも親身に対応していただき、学生としての謙虚さとともにデザイナーとしてのプロ意識を感じました。この場をお借りして実行委員一同心から感謝申し上げます。

マコトくんの名前は、実行委員長の思いがけない遠方への異動を機に、ご本人の了承を得て命名しました。遠くにいても首東さんは実行委員のシンボルですよという気持ちを込めました。ミス・ナイチンゲールは、ミスとMISをかけた命名を考えていた中、ウグイスの英語名の私の勘違いからの提案が採用されました。実行委員のみんなで大切に育て、大会準備を盛り上げてくれたマコトくんとミス・ナイチンゲールが記念グッズとして、参加者の皆様のお手元でも愛用されるといいなと思っています。



ロゴ・グッズ担当：平山紀子（久留米大学医学図書館）

## 大会グッズのご紹介

今年はとっても実用的なラインナップ。全部揃えれば仕事が捗ること間違いなしです。

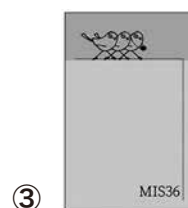
### ①福岡ソフトバンクホークス 鷹の祭典ユニフォーム MIS36 ver. (2,000円/全3色)

ホークスの選手が「鷹の祭典」で着用するレプリカユニフォームにMIS36のバックプリントを入れました。黄色(2015年)、赤(2014年)、紫(2013年)モデルをご用意しました。数量限定です。



### ②マコトくん 付箋 (250円)

ラーメン井からはみ出たマコトくんの丸形付箋。  
メモしているとお腹が空いてきそう！



### ③ミス・ナイチンゲール 付箋 (200円)

SNSで博多弁をつぶやきまくったナイチンゲールさんの可愛い付箋。

②

③

### ④クリアファイル (250円/全6種)

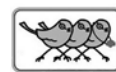
コレクションして、仕事中に眺めてはにんまりして下さい♪



④

### ⑤ミス・ナイチンゲール ダブルクリップ (300円)

メモスタンドにしたり、コードをまとめたり、オリジナルのライフハックを考えるのも楽しいですよ。



⑤

⑥

### ⑥マコトくん マグネットクリップ (350円)

使い勝手の良いサイズです。仕事がどんどん片付いて、早く帰れること間違いなしです！



### ⑦VISA VISI マドレーヌ (2個 300円 / 箱入り 6個 1,000円)

福岡じゃ知らない人はいない名店「VISA VISI」のチョコとプレーンのマドレーヌ。どちらもコラーゲン入りできめの細かなしっとり食感です。

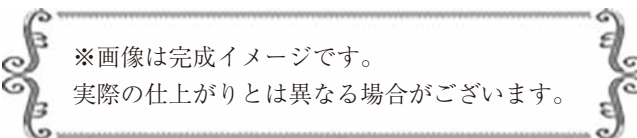


⑦

### ⑧VISA VISI レモンケーキ (1個 200円)

爽やかな九州産レモン果汁がいっぱいです。

※画像は完成イメージです。  
実際の仕上がりとは異なる場合がございます。



グッズ担当：別府さおり (福岡徳洲会病院図書室)



## 大会関連データ

## 医学情報サービス研究大会の組織と運営

1984年に、東京都養育院講堂で第1回図書館情報サービス研究大会を開催しました。この大会は、病院図書室研究会、ライフ・サイエンス図書館員研究会、日本端末研究会、生物医学図書館員研究会の4団体による合同研究大会として出発し、第3回札幌大会からは、独立した研究会として運営されるようになりました。第10回大会から、大会名称を医学情報サービス研究大会に変更し、医学、薬学、歯学、看護学、保健などの生命科学関連領域の情報サービスを中心に、専門性をより深く追求してまいりました。

2019年、本研究大会は福岡で第36回大会を開催いたします。これほどまでも長く続けてこられたのは、会員制度をとらず、参加される一人一人の方々の自覚と意欲によって形成されている点にあります。参加者は、所属機関を越えて自覚的に個人として集まります。会場では、それぞれが時には講師、時には受講者となって学び合います。『Learning from each other!』精神のもと、参加者も自然と運営に関わる手作りの研究大会であることが、継続してきた最大の理由と思われます。

医学情報サービス研究大会の基本運営は幹事会で検討されていますが、実際の大会運営は、各回の実行委員会に委ねられております。実行委員会は毎回リセットされるため、大会プログラムもその回ごとに異なります。その結果、研究大会そのものが、常にリフレッシュされていることも、特徴のひとつといえます。

インターネットを介した情報技術の進歩により、社会は大きく変化しました。生命科学関連領域の教育・研究・臨床もその影響を受け様変わりしています。そのため情報サービスを提供する我々自身も、新しい知識や技術を取得・吸収しなければなりません。本研究大会は、その手助けができる場所として、今後とも発展させていくつもりです。

### ■医学情報サービス研究会幹事会

#### 代表幹事

児玉 関 (東邦大学医学メディアセンター)

#### 幹事会メンバー

青木 仕 (國學院大學文学部日本文学科)

阿部 信一 (東京慈恵会医科大学学術情報センター)

及川 はるみ (聖路加国際大学学術情報センター図書館)

大谷 裕 (東邦大学医学メディアセンター)

小野 理奈 (東京工業大学研究推進部情報図書館課)

城山 泰彦 (順天堂大学学術メディアセンター)

黛 崇仁 (東邦大学医学メディアセンター)

谷澤 滋生 (特定非営利活動法人日本医学図書館協会中央事務局)

#### 歴代代表幹事・大会長 [所属表記は代表幹事退任時]

後藤 久夫 (東京都福祉局福祉部)

井出 唯敬 (兵庫医科大学)

山崎 茂明 (愛知淑徳大学文学部図書館情報学科)

青木 仕 (順天堂大学図書館)

ご意見やご要望などございましたら、私たち幹事会メンバーまでお知らせください。

# 医学情報サービス研究会会則

(名称)

第1条 本会は、医学情報サービス研究会という。

(目的)

第2条 本会は、個人単位の自由な集まりを原則とし、参加者自身の研究発表による知識の共有と交流の場を提供することによって、各自の資質向上を図り、もって情報サービスの発展に貢献することを目的とする。

(活動)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

- ① 年1回「医学情報サービス研究大会」を開催する。
- ② その他必要と認められる活動を行う。

(会員)

第4条 本会は、特に会員制度を有しない。

(代表及び幹事)

第5条 本会に代表一人及び幹事若干人を置く。

- 2 代表及び幹事の任期は1年とし、再任は妨げない。

(定例会)

第6条 代表は、毎年1回定例幹事会を招集する。

- 2 定例幹事会は幹事の5分の4の出席をもって成立する。
- 3 定例幹事会では、本会の運営に関する重要事項を協議する。

(研究大会)

第7条 年1回「医学情報サービス研究大会」を開催する。

- 2 開催地及び大会実行委員長は定例幹事会において決定する。
- 3 研究大会開催の経費の一部は、研究会より交付し、その他は参加費で賄うものとする。
- 4 その他については、別に定める。

(経費)

第8条 本会の経費は「医学情報サービス研究大会」の参加費、及び出版物の販売の益によって賄うものとする。

(事務)

第9条 本会の事務は、代表または幹事の属する図書館（室）において処理する。

(雑則)

第10条 この会則に定めるもののほか、本会に関し重要な事項は別に定める。

付則

この会則は、平成2年6月16日から施行する。

付則

この会則は、平成4年12月1日から施行する。

# 医学情報サービス研究大会の足跡（1）

## ■図書館情報サービス研究大会

回	開催年月日	開催地（当時）	会場施設
第1回	1984年6月2日～3日	東京都板橋区	東京都養育院 講堂
第2回	1985年6月1日～2日	大阪府枚方市	大阪歯科大学 5階講義室
第3回	1986年6月28日～29日	北海道札幌市中央区	札幌医科大学 臨床教育研究棟大講堂
第4回	1987年6月6日～7日	岡山県倉敷市	川崎医科大学 現代医学教育博物館
第5回	1988年6月25日～26日	東京都板橋区	東京都養育院 講堂
第6回	1989年6月10日～11日	大阪府大阪市中央区	大阪市立労働会館 小ホール
第7回	1990年6月16日～17日	静岡県浜松市	クリエート浜松 ホール
第8回	1991年6月22日～23日	鳥取県米子市	鳥取大学医学部 記念講堂
第9回	1992年5月30日～31日	京都府京都市山科区	京都市東部文化会館

## ■医学情報サービス研究大会

第10回	1993年6月19日～20日	東京都文京区	順天堂大学 有山記念館3階講堂
第11回	1994年6月18日～19日	岩手県盛岡市	岩手医科大学 医学部臨床講堂および図書館
第12回	1995年7月1日～2日	長崎県長崎市	長崎大学医学部 第1講義室
第13回	1996年6月29日～30日	愛知県名古屋市千種区	愛知県がんセンター 国際医学交流センター
第14回	1997年6月21日～22日	東京都文京区	東京医科歯科大学 5号館講堂
第15回	1998年6月20日～21日	鳥取県倉吉市	鳥取女子短期大学 A館3階309教室
第16回	1999年6月26日～27日	神奈川県横浜市鶴見区	鶴見大学会館 メインホール
第17回	2000年7月22日～23日	北海道札幌市中央区	札幌医科大学 臨床教育研究棟大講堂
第18回	2001年6月23日～24日	愛媛県伊予郡砥部町	愛媛県立医療技術短期大学 教育棟北棟
第19回	2002年7月6日～7日	静岡県静岡市	静岡県立大学短期大学部 大講義室
第20回	2003年7月12日～13日	京都府京都市上京区	京都府立医科大学 附属図書館・合同講義棟
第21回	2004年7月3日～4日	東京都渋谷区	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟セミナーホール
第22回	2005年7月9日～10日	愛知県愛知郡長久手町	愛知医科大学 本館たちばなホール
第23回	2006年7月15日～16日	千葉県千葉市稲毛区	千葉大学 けやき会館大ホール
第24回	2007年8月25日～26日	長崎県長崎市	活水女子大学 4号館411教室
第25回	2008年7月12日～13日	茨城県つくば市	筑波大学 春日キャンパス講堂
第26回	2009年7月4日～5日	東京都港区	北里大学 白金キャンパス薬学部1号館1501講義室
第27回	2010年8月21日～22日	福島県いわき市	いわき明星大学 AV大講義室
第28回	2011年7月23日～24日	滋賀県大津市	滋賀県民交流センター ピアザ淡海 大会議室
第29回	2012年8月25日～26日	東京都中央区	聖路加看護大学 アリス・C・セントジョンメモリアルホール
第30回	2013年7月6日～7日	沖縄県那覇市	沖縄県立看護大学 大講義室
第31回	2014年7月26日～27日	愛知県名古屋市千種区	愛知県がんセンター中央病院 国際医学交流センター
第32回	2015年7月18日～19日	北海道札幌市北区	北海道大学 学術交流会館
第33回	2016年7月2日～3日	長崎県長崎市	長崎市立図書館 多目的ホール
第34回	2017年8月26日～27日	大阪府枚方市	関西医科大学 枚方キャンパス 加多乃講堂
第35回	2018年8月4日～5日	東京都渋谷区	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟セミナーホール
第36回	2019年8月11日～12日	福岡県福岡市東区	九州大学医学部 百年講堂

## 医学情報サービス研究大会の足跡 (2)

### ■ 図書館情報サービス研究大会 (第1回～9回), 医学情報サービス研究大会 (第10回以降)

回	会場(当時)	参加	出展	実行委員長	事務局長	天気(2日分)	
第1回	東京都養育院	165名		後藤 久夫	山崎 茂明	晴	曇
第2回	大阪歯科大学	130名		井出 唯敬	木下 順一	曇	曇
第3回	札幌医科大学	126名		野口 迪子	中山 純一	晴	曇
第4回	川崎医科大学	141名		湊 泰子	河口 澄子	晴	晴
第5回	東京都養育院	184名		後藤 久夫	奈良岡 功	雨	雨
第6回	大阪市立労働会館	125名		殿崎 正明	安藤 孝幸	曇一時雨	曇一時雨後晴
第7回	クリエート浜松	142名	6社	熊谷 健治	山口直比古	曇時々雨	晴
第8回	鳥取大学医学部	100名	5社	宍道 勉	青木 仕	薄曇	曇一時雨
第9回	京都市東部文化会館	209名	6社	岩本 博	岩本 博(兼任)	雨後曇	晴時々曇
第10回	順天堂大学 本郷キャンパス	203名		奈良岡 功	青木 仕	雨一時曇	曇一時雨
第11回	岩手医科大学	142名	3社	藤原 紀子	金野 早苗	晴後一時薄曇	曇
第12回	長崎大学 坂本キャンパス1	95名	6社	喜多 芳明	喜多 芳明(兼任)	曇一時晴	雨, 雷を伴う
第13回	愛知県がんセンター	206名	6社	熊谷 健治	安田多香子	晴一時曇	曇一時雨後晴
第14回	東京医科歯科大学	240名	10社	安藤 越代	石井 保志	晴後曇	曇一時雨
第15回	鳥取女子短期大学	104名	5社	上田 京子	野原 千鶴	曇後晴	雨一時曇
第16回	鶴見大学	259名	10社	登坂善四郎	登坂善四郎(兼任)	雨後曇	雨一時曇
第17回	札幌医科大学	159名	10社	平 紀子	中山 純一	曇後時々雨	雨一時曇
第18回	愛媛県立医療技術短期大学	160名	9社	野原 千鶴	吉見 八重	雨	曇後晴
第19回	静岡県立大学短期大学部	250名	14社	田引 淳子	小浜 進	曇一時晴	曇一時雨
第20回	京都府立医科大学	270名	16社	宮本小夜子	山室真知子	雨後曇	雨
第21回	国立オリンピック記念青少年総合センター	355名	18社	児玉 閲	城山 泰彦	晴	快晴
第22回	愛知医科大学	266名	18社	坪内 政義	市川美智子	雨一時曇	曇
第23回	千葉大学 西千葉キャンパス	322名	18社	谷澤 滋生	加藤 晃一	晴時々曇	曇一時雨
第24回	活水女子大学	170名	13社	喜多 芳明	森 茂樹	雨後曇	晴時々曇
第25回	筑波大学 春日キャンパス	278名	18社	小野寺夏生	岩澤まり子	晴	晴
第26回	北里大学 白金キャンパス	305名	18社	宇野 彰男	阿部 京子	曇後一時晴	曇
第27回	いわき明星大学	161名	16社	佐々木克彦	石井 美樹	晴	晴
第28回	滋賀県民交流センター ピアザ淡海	229名	18社	櫻井 待子	菅 修一	晴	薄曇
第29回	聖路加看護大学	333名	17社	松本 直子	及川はるみ・佐藤晋巨	晴	晴後一時曇
第30回	沖縄県立看護大学	144名	13社	大山 努	古謝久美子	薄曇後晴	晴
第31回	愛知県がんセンター	249名	15社	小嶋 智美	市川美智子	晴一時曇	晴時々曇一時雨
第32回	北海道大学 札幌キャンパス	189名	19社	松尾 博朋	武田理香子	雨時々曇	曇一時雨
第33回	長崎市立図書館	149名	15社	喜多 芳明	下田富美子	曇時々雨	曇後時々雨
第34回	関西医科大学	167名	15社	山田 久夫	増田 徹	曇一時雨	薄曇時々晴
第35回	国立オリンピック記念青少年総合センター	300名	18社	大谷 裕	阿部 潤也	晴一時薄曇	晴
第36回	九州大学医学部			首東 誠	福島 真紀		

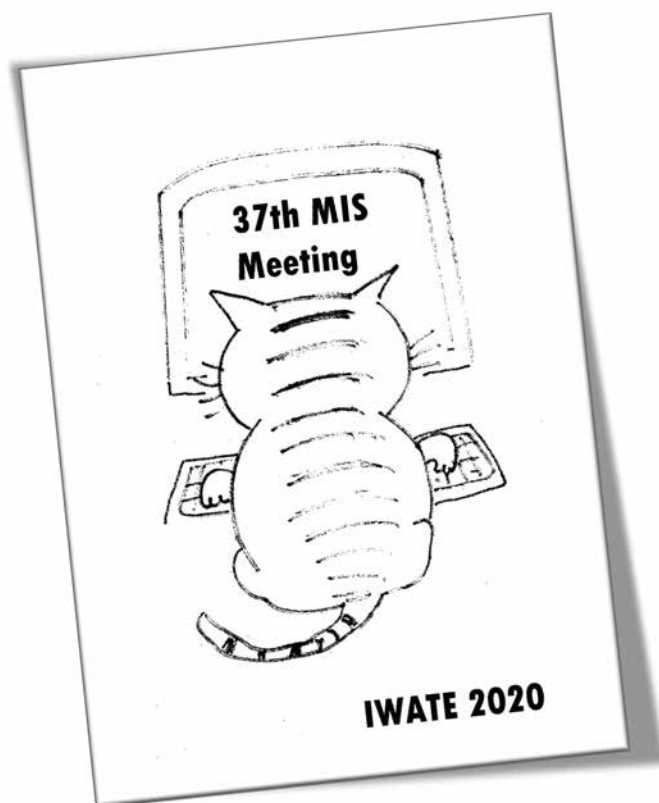
※参加者数は、実行委員会の公式発表数。公式発表を確認できない回は、参加者名簿当により推計(斜字体表記)。  
 ※天気は、気象庁「過去の気象データ検索」より、開催地都道府県気象台の天気概況(昼06:00-18:00)を記載。

# 来年は岩手でお会いしましょう！

## 第 37 回医学情報サービス研究大会

2020年7月17日(土) - 18日(日)

岩手医科大学 (岩手県紫波郡矢巾町)



実行委員長	川崎	かおる	(岩手医科大学附属図書館)
事務局長	關山	悦子	(岩手医科大学附属図書館)
実行委員	菊地	繭美	(岩手県一関市立藤沢図書館)
	古谷野	ありさ	(岩手医科大学附属図書館)
	佐藤	菊代	(岩手医科大学附属図書館)
	手塚	美希	(岩手県紫波町図書館)
	山田	奈々	(青森県立保健大学図書館)

## 大会主催のお願い

現在、大会を実行される主催者を募集しています。医学情報サービス研究大会は、1984年に東京都養育院講堂で開催された第1回大会以来、研究発表、生涯教育、情報交換の広場として、発展してきました。これは、大会会場の提供と実行委員会のご尽力によるものです。大会の場が存在してこそ、私たちは、ともに学びあい、率直に交流し、問題解決の方法を求め、心地よい時間を共有してられました。大会を開催するには多大なエネルギーが必要です。しかし、実行委員会を組織して、プログラムを企画し、大会を実行することで参加者とは異なる楽しさ・達成感・充実感が得られます。みんなで作る当大会の継続と発展のために、大会主催者としての関与をご検討ください。

当初、参加者は150名前後でしたが、開催地によっては300名を超えることもありました。大会の組織や実行のために必要なノウハウや人材、活動資金など、これまでの大会からの蓄積もあります。もし実行のために支援が必要な場合は、幹事会メンバーや多くの仲間が協力できます。プログラムについては、特別講演や継続教育コース、特定テーマのシンポジウムなど、実行委員会の裁量で企画できます。一般演題はポスター発表を含め、新しい人々の申し込みを得ています。情報サービスの専門職として、企業とのパートナーシップも形成しています。新しい製品やシステムの紹介は、展示ブースだけでなく、プロダクトレビューの場で口演されています。これにより、一般演題やポスター演題は、研究発表や事例提示を中心にして、マーケティングのための商業発表と区別されることになります。

大会運営のための経費は、主に参加者の大会参加費に依存しています。企業からの展示収入も寄与していますが、主催者側と企業との適正な関係を育成していくつもりです。懇親会や大会グッズなどは、学びあうだけでなく、楽しめるプログラムとして位置づけています。

これまでの大会運営にあたり、財政支援のともなう他組織からの後援を受けていません。私たちは手作りであることを大切にしており、今後とも自由な個人の力を組織した大会として継続させたいと願っています。

“Learning from each other!”。大会開催についてご相談がございましたら、ぜひ幹事会メンバーへお知らせください。

\*これまで開催された大会のプログラム、記念写真、開催報告一覧を、医学情報サービス研究大会ウェブサイト (<http://mis.umin.jp/>) でご覧いただけます。  
ぜひ一度お越しください。

第 36 回医学情報サービス研究大会抄録集

---

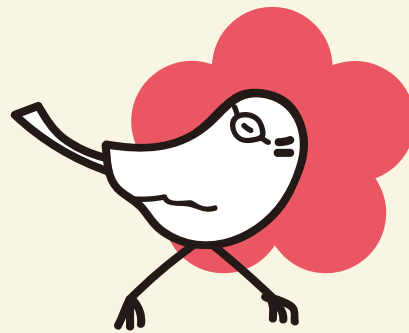
発行日 令和元（2019）年 8 月 11 日  
発行者 首東 誠  
編集 第 36 回医学情報サービス研究大会実行委員会  
印刷所 新幸印刷  
表紙デザイン 戸嶋 野乃香

---

ISSN 1341-4739



Learning from Each Other !



令和初 福岡初